



第43回 東北理学療法学術大会 in Fukushima

会期: 2025年 9/27(土)・9/28(日)

会場: パルセいいざか 〒960-0201
福島市飯坂町字筑前 27-1
TEL 024-542-2121

プログラム集

次世代の理学療法士へ伝えること
～継続すべきことと新たな挑戦のために～

大会長 高橋仁美
福島県立医科大学

主催: 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
担当: 一般社団法人 福島県理学療法士会

令和7年7月吉日

施設長
病院長
所属機関長

殿

日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
会長 菅原 慶勇

第43回東北理学療法学会
大会長 高橋 仁美



第43回東北理学療法学会出張許可のお願い(ご依頼)

謹啓

時下貴台におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より日本理学療法士協会東北ブロック協議会ならびに一般社団法人福島県理学療法士会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記により第43回東北理学療法学会を開催する運びとなりました。

つきましては、貴職員で 理学療法士 氏 の学会大会出張につきまして、格段のご配慮を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

謹白

記

1. 大会名 第43回東北理学療法学会
2. テーマ 「次世代の理学療法士へ伝えること」
～継承すべきことと新たな挑戦のために～
3. 会場 パルセいいざか(対面およびオンデマンド配信)
福島市飯坂町字筑前 27-1
4. 会期 令和7年9月27日(土) 10:00 ～ 18:20
28日(日) 10:00 ～ 16:00
5. 主催 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
6. 担当 一般社団法人 福島県理学療法士会

以上

お問い合わせ先

第43回東北理学療法学会 事務局

事務局長 小俣 純一(おまた じゅんいち)

副事務局長 星 真行(ほし まさゆき)

E-mail : touhoku.pt.43th@gmail.com

目次

タイトル	ページ番号
大会長挨拶	2
日程表	3
アクセス案内	5
会場案内	9
参加者へのお知らせ	12
参加登録のご案内	15
生涯学習履修登録のご案内	17
大会企画目次	20
学術機関誌投稿規定	66
学術機関誌投稿要領	67
後援御芳名	73
協賛企業一覧	74
第44回東北理学療法学術大会のご案内	75
審査員一覧	76
実行委員・協力委員	77

大会長挨拶



第43回東北理学療法学術大会

大会長 たかはし 高橋 ひとみ 仁美

(福島県立医科大学)

第43回東北理学療法学術大会のテーマは、「次世代の理学療法士へ伝えること～継続すべきことと新たな挑戦のために～」です。これは、私たちの専門分野における進化と変革への招待状であり、共に学び、共に成長し、共に挑戦する姿勢を象徴しています。私たちは、2025年に開催される本学術大会を、地域包括ケアシステムの実現を迎える場と位置づけ、次世代の理学療法士への知識と経験の継承、そして新たな挑戦への道を模索する重要なイベントと捉えており、この価値あるテーマに全力で取り組む覚悟でございます。

本テーマに込めた思いを基に、大会をより有益で魅力的なものにするため、以下の方針を掲げます。

- 1 最新の知識や技術の共有と次世代への継承:最新の理学療法の知識や技術を次世代に向けて共有し、参加者が最新のトレンドを把握し、未来に向けた知識の継承を行います。
- 2 新たな挑戦への拡張:未知の領域に挑戦し、進化し続ける理学療法の可能性について議論し、参加者が自身の実践において新しい視点を得る手助けとします。
- 3 コミュニケーションとネットワーキング:参加者同士の交流を重視し、理学療法のコミュニティを一層強化します。異なる経験と専門知識を共有することで、より広がりのある視野を築くお手伝いをします。
- 4 持続可能性への取り組み:参加者自身の研究や実践に関する発表の場を提供するとともに、交流共有の機会を提供します。

地域社会や環境に対する配慮を忘れず、持続可能性に焦点を当て、私たちの活動が地域社会にポジティブな影響を与え、未来の理学療法の発展に寄与することを目指します。

本学術大会が学術と実践の精髓を共有し、次世代の理学療法士たちが自信を持って未来に挑戦できるような場となることを切に願っております。福島県ならではの特色や課題に焦点を当て、地域社会との連携を深めながら、理学療法の普及と地域への貢献を目指します。皆様のご協力とご参加を心よりお待ちしております。

2024年12月吉日

	1日目:9月27日(土)			
	第1会場(大ホール)	第2会場(第1会議室)	第3会場(第2会議室)	ポスター会場(2Fホワイエ)
9:00	受付開始			
10:00	モーニングセミナー 挑戦と失敗を重ねたアメリカ理学療法士への軌跡 挑戦継続の意義 講師:須賀 康平(FuncPhysio NY) 座長:森山 信彰(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)			ポスター貼り付け(学生演題含む)
11:00				
11:10 11:30		開会式		
11:40	大会長基調講演 次世代の理学療法士へ伝えること ～継続すべきことと新たな挑戦のために～ 講師:高橋 仁美(福島県立医科大学) 座長:黒田 昌宏(みゆき会病院)			
12:40				
12:40 13:00	次期大会長挨拶 表彰(論文賞)			
14:00	特別講演 I 次世代の理学療法士へ伝えること ～私の38年の経験から～ 講師:矢吹 省司(福島県立医科大学) 座長:神先 秀人(福島県立医科大学)	一般演題(口述1)	一般演題(口述2)	一般演題(ポスター1・2)
15:00		座長:田邊 素子(東北福祉大学)	座長:小林 大介(医療創生大学)	学生ポスター発表1
15:10	スキルアップセミナー I 腰痛理学療法における現状と今後の展望 講師:成田 崇矢(桐蔭横浜大学) 座長:小俣 純一(福島県立医科大学)	一般演題(口述3)	一般演題(口述4)	一般演題(ポスター3・4)
16:10		座長:藤田 俊文(弘前大学)	座長:鈴木 栄三郎 (山形県立保健医療大学)	学生ポスター発表2
16:20	参加型シンポジウム I 未来を見据えた地域共生社会の構築 シンポジスト:中田 隆文(マリオス小林内科クリニック) 高木 憲司(和洋女子大)・猪狩 僚(合同会社ソラリコ 代表) 座長:舟見 敬成(総合南東北病院)	教育講演 I	一般演題(口述5)	一般演題(ポスター5・6)
17:20		Routineでは終わらせない がん理学療法 ー 次世代へのメッセージ ー 講師:上野 順也(国立がん研究センター東病院) 座長:山本 優一(北福島医療センター)	座長:星 豪志 (弘前大学医学部付属病院)	
17:30		イブニング企業セミナー(第2会場)	イブニング企業セミナー(第3会場)	学生演題ポスター撤去
18:20		企業名:大塚製薬株式会社 講師:川上 亮一(かわかみ整形外科クリニック) 座長:矢吹 省司(福島県立医科大学)	企業名:エア・ウォーター・メディカル株式会社 講師:遠藤 康裕(福島県立医科大学) 講師:佐藤 聡見(福島県立医科大学)	

	2日目：9月28日（日）			
	第1会場（大ホール）	第2会場（第1会議室）	第3会場（第2会議室）	ポスター会場（2Fホワイエ）
9:00	受付開始			学生演題ポスター貼り付け
10:00	スキルアップセミナーⅡ ヒューマン・テクノロジー・ナラティブの交差点 ～神経理学療法における継承と革新～ 講師：森岡 周（畿央大学） 座長：阿部 浩明（福島県立医科大学）	東北ブロック協議会教育研修部主催研修会 誰でも明日から始められる臨床研究 ～症例研究のすすめかた～ 講師：古川 勉寛（医療創生大学） 座長：百足 昭一郎（白河厚生総合病院）	一般演題（口述6） 座長：関 公輔 （いわてリハビリテーションセンター）	一般演題（ポスター7・8） 学生ポスター発表3
11:00				
11:10	特別講演Ⅱ 超高齢社会における内部障害と理学療法戦略 講師：宮崎 慎二郎（KKR高松病院） 座長：高橋 仁美（福島県立医科大学）	一般演題（口述7） 座長：木元 裕介 （秋田リハビリテーション学院）	一般演題（口述8） 座長：中野渡 達哉（福島県医科大学）	一般演題（ポスター9） 学生ポスター発表4
12:10				
13:10	教育講演Ⅱ 骨盤底から考えるウィメンズヘルス理学療法 次世代の視点とスキル 講師：横井 悠加（城西国際大学） 座長：佐藤 絢（医療生協 わたり病院）	教育講演Ⅲ いきる力を支える地域理学療法と人づくり ー持続可能な地域医療と次世代への継承ー 講師：北谷 正浩（石川県理学療法士会/会長） 座長：齊藤 隆（サンライフゆもと）	一般演題（口述9） 座長：荒牧 隼治（仙台青葉学院短期大学）	ポスター撤去（学生演題含む）
14:10				
14:20	参加型シンポジウムⅡ 理学療法の実践と原点回帰 シンポジスト：林 哲生（福島県立医科大学）・折内 英則（総合南東北病院）・佐藤 努（医療生協 わたり病院） 座長：高橋 仁美（福島県立医科大学）	教育講演Ⅳ 理学療法に発達科学の知見を活かす 講師：儀間 裕貴（東京都立大学） 座長：楠本 泰士（福島県立医科大学）		
15:20				
15:30	閉会式・表彰（大会賞）			
16:00				

アクセス案内

会場：パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）

アクセス



パルセいいざか 〒960-0201 福島市飯坂町字筑前27-1 TEL 024-542-2121

高速ICからのアクセス

東北自動車道「福島飯坂インター」から
米沢～飯坂温泉方面へ約5 km、車で約
10分

JR新幹線からのアクセス

JR福島駅より福島交通飯坂線で約21分、
終点の飯坂温泉駅より徒歩約8分

空港からのアクセス

仙台空港からJR仙台駅まで仙台空港ア
kses線で約17分、JR福島駅まで東北新幹
線で約22分



-->

飯坂温泉駅～パルセいいざか

● 東北学会案内看板

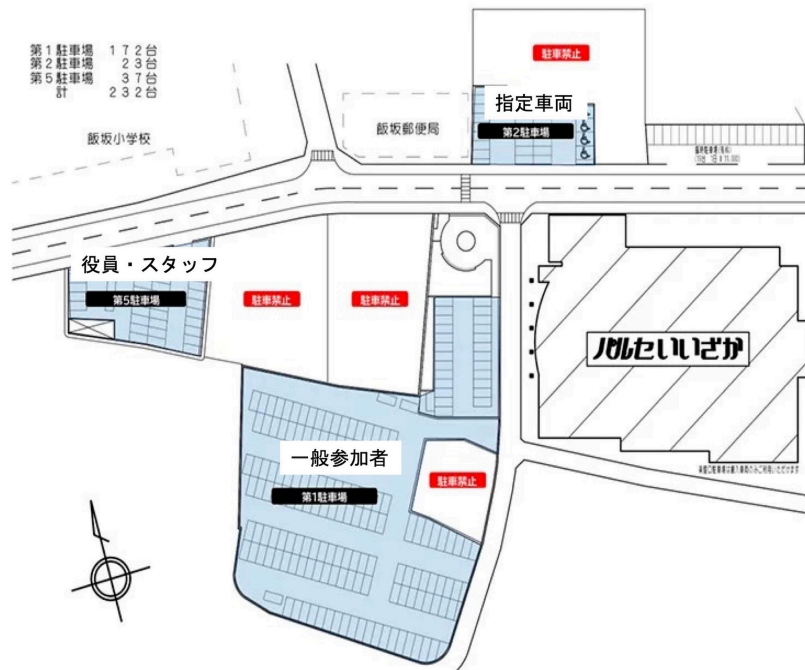


飯坂駅～パルセいいざか



参加者へのお願い：駐車場の御利用について

本学会の会場会期中は、230～400台程度の駐車場利用が可能になっておりますが、一般の市民の方々を含め、多くのご利用者が想定されます。そのため、本学会へ来場いただく際は、数名での乗合いまたは公共交通機関のご利用を考慮いただければ幸いです。



パルセイロ 臨時駐車場案内図



パルセイロ臨時駐車場

福島県福島市飯坂町字飯坂イ 1134000



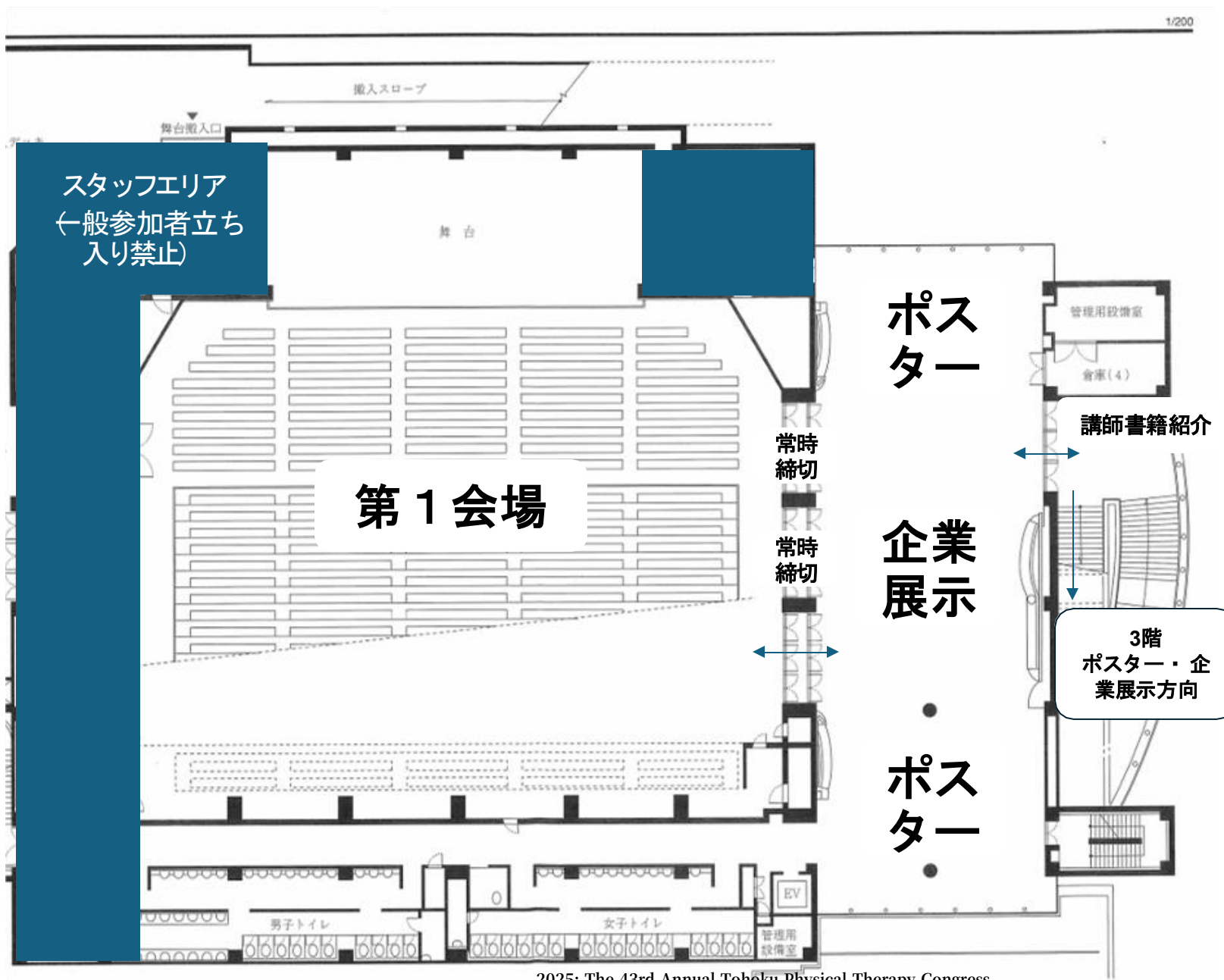
市民公開講座駐車場

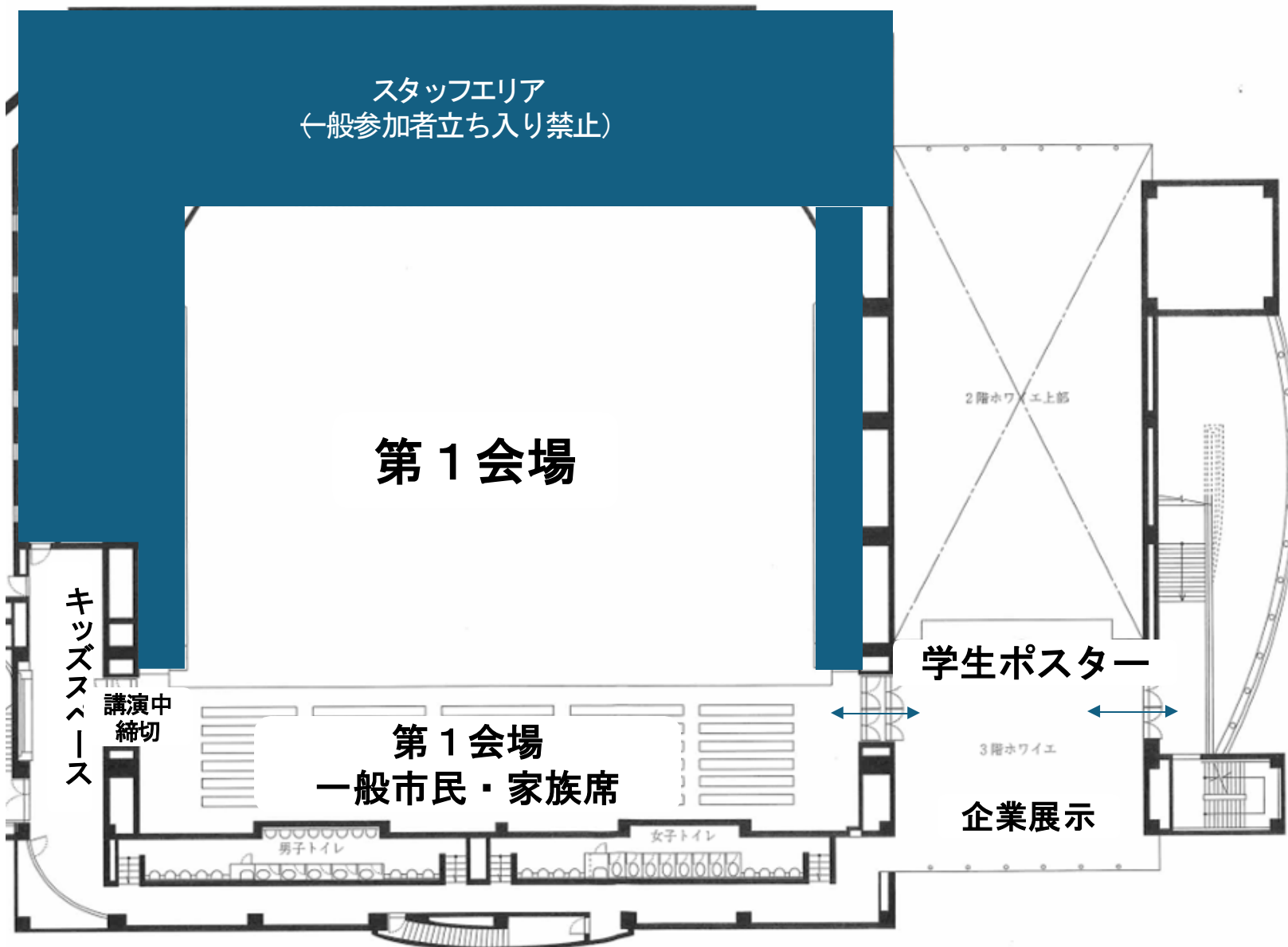
市民公開講座駐車場



会場案内 1 階







参加者へのお知らせ

【参加受付について】

＜場所＞ 1F エントランスホール

＜受付時間＞

9月27日（土） 9:00～19:00

9月28日（日） 9:00～16:00

1. 会員の方は JPTA アプリによる受付を行います。QR コードを読み込む準備をお願いします。
2. 非会員の方は受付にお声がけください。
3. 学生は、記名台の紙に記帳をお願いします。

【シャトルバス（タクシー）について】

飯坂駅～パルセいいざか（会場）間および臨時駐車場～パルセいいざか間にシャトルバス（タクシー）がでます。台数に限りがございますので、皆様乗り合いの上、ご利用ください。また、すべての参加者の方を乗せることはできませんので、大変心苦しいところではございますが、ぜひ二千年の歴史ある奥州三名湯の一つ、飯坂温泉街を歩いて、その雰囲気を感じて頂けると幸いです。

尚、お車で来られる方は時間に余裕を持ってお越しください。

株式会社北福島タクシー

1 日目：

- 1) 飯坂駅方面；8時～10時、18時半～19時半
（9人乗りジャンボタクシー＋タクシー）
- 2) 臨時駐車場方面；8時～19時半
（朝夕は4人乗り普通タクシー、日中はジャンボタクシーのみ）

2 日目：

- 1) 飯坂駅方面 8時～10時、16時～17時
（9人乗りジャンボタクシー＋タクシー）
- 2) 臨時駐車場方面；8時～17時
（朝夕は4人乗り普通タクシー、日中はジャンボタクシーのみ）

【移動に関する注意点】

現在、福島市 9/28 まで「金曜ロードショーとジブリ展」が開催中です。そのため、福島交通飯坂線の混雑が予想されます。下線および塗りつぶしが混雑予想駅

混雑予想駅：福島→曾根田→美術館図書館前→岩大清水→泉→上松川→笹谷→桜水→平野→医王寺前→花水坂→飯坂温泉

【クローク】

≪場所≫ 1 階エントランスホール

≪お預かり時間≫

9 月 27 日（土） 9:00～18:30

9 月 28 日（日） 9:00～17:00

1. 参加受付後にご利用いただけます。
2. 貴重品やパソコン等の機器類はお預かりできませんので、ご了承ください。

【会場内での留意事項】

1. 会場内では、必ずネームカードをホルダーに入れ、首から下げてご着用ください。ネームカードの確認ができない場合、入場はお断りする場合がございます。事前登録された方は、各自で印刷して持参したネームカードに所属・氏名を記載の上で会場に用意したホルダーに入れて参加ください。
2. 緊急性・公共性の高いご案内については、会場アナウンスにてお知らせいたします。個人のお呼び出しについては、緊急の場合を除き対応いたしかねますのでご了承ください。
3. 携帯電話やスマートフォンは、協会アプリ使用时以外は、電源をお切りいただくかマナーモードに設定してください。
4. 会場内での録音、写真撮影、ビデオ撮影はお断りいたします。
5. 第 1 会場は飲食が禁止となっております。第 2 会場、第 3 会場は、禁止ではありませんが、床や施設・備品等を汚さないようご配慮ください。
6. お食事の際は専用会場または会場近隣の飲食店をご利用ください。売店、食堂の営業はございませんが、当日会場内にてお弁当の販売を予定しております。なお、昼の弁当等で出たゴミは回収させていただきますが、その他のゴミは原則持ち帰りにご協力をお願いいたします。
7. 会場内および会場敷地内は全面禁煙となっております。加熱式タバコ等の使用もご遠慮ください。
8. 服装についてはクールビズ（ノーネクタイ・ノージャケット等）でのご参加も可能です。

【オンデマンド配信について】

本学会では、会場参加・オンデマンド参加の皆様を対象として、閉会後に一部プログラムのオンデマンド配信（配信期間は 10 月 20 日 13 時（月）～11 月 21 日 18 時（金）を予定）を行う予定です。配信につきましては、詳細が決まり次第学会 HP 等でご案内いたします。

【一般市民および家族等の参加について】

本学会では、一般市民やご家族の参加を推進しております。
お子様や祖父母など家族同伴での学会参加が可能となっております。
ぜひ、ご家族でご参加ください。

【イブニング企業セミナー】

イブニング企業セミナーは、一般の方が参加可能となっております。
ぜひ、ご参加ください。

【キッズスペースについて】

本学会では3階にキッズスペースを準備しております。ご活用ください。
※ キッズスペースには、常駐するスタッフはおりません。お子様から目を離さないようにご注意ください。
※ 託児所はございません。

【会場の Wi-Fi 環境について】

会場には、Wi-Fi 環境が整っております。
当日、会場にて SSID およびパスワードを確認の上、ご活用ください。

【宿泊調査にご協力ください】

学会へお越しの方にはお願いです。
以下の URL より、宿泊地の調査にご協力ください。

<https://forms.gle/xrVBdp8xAuYWJPG5A>

参加登録のご案内

【事前参加登録】

日本理学療法士協会のマイページから参加登録をしてください。

カリキュラムコードは「45：エビデンス（根拠）に基づく理学療法」になります。

●当日参加用セミナーID：145133

会員事前参加登録：4000円

事前申込期間：7/28～9/18 ※当日参加受付あり

支払方法による申し込み期限は以下になります。

- ・クレジットカード払い 9/18（木）
- ・口座振替 8/13（水）
- ・現金振込 8/30（土）※支払期限9/10（水）

●オンデマンド参加用セミナーID：145135

会員事前参加登録：4000円

事前申込期間：7/28～10/11

支払方法による申し込み期限は以下になります

- ・クレジットカード払い 10/11（土）
- ・口座振替 9/14（日）
- ・現金振込 9/22（月）※支払期限10/3（金）

【当日参加登録】

- 会員（両日参加）：5000円
- 会員（1Day）：3000円
- 非会員（理学療法士）10000円
- 他職種：3000円
- 学生：無料

【対面参加者のオンデマンド配信について】

以下の登録で参加された方は、オンデマンド配信の視聴も可能です。

- 対面参加用セミナーID（145133）で事前参加登録された方：4,000円
- 当日参加登録（会員・両日参加）：5,000円

＊注意点

- オンデマンドを視聴しても、履修ポイントの追加はありません。
- 二重登録によるポイント取得が確認された場合は、後日履修を取り消し、個別にご連絡いたします。

生涯学習履修登録のご案内

本学術大会では、日本理学療法士協会の生涯学習制度に基づき、履修登録を実施いたします。「現地参加」または「オンデマンド参加」のいずれかの形式にて、学術大会参加の履修登録が可能です。なお、**個別プログラムの履修登録は現地参加者のみ対象**となります。

参加形式によりポイント付与の条件が異なりますので、以下の内容をご確認のうえ、お申し込みください。

参加形式	学術大会参加	個別プログラム参加
現地参加	○	○
オンデマンド参加	○	×

【学術大会参加 履修目的】

- ・登録理学療法士 更新：14 ポイント（カリキュラムコード：45 エビデンス（根拠）に基づく理学療法）
- ・認定/専門理学療法士 更新：14 点
- ・専門理学療法士（新規）

※デイパス参加の方

1 日目のみ参加：登録理学療法士更新 8 ポイントまたは認定/専門理学療法士更新 8 点

2 日目のみ参加：登録理学療法士更新 6 ポイントまたは認定/専門理学療法士更新 6 点

【個別プログラム 履修目的（現地参加者限定）】

- ・登録理学療法士 更新：各 1 ポイント ※カリキュラムコードは下表参照
- ・認定/専門理学療法士 更新：各 1 点

講演名/講師・シンポジスト/テーマ	カリキュラムコード
大会長基調講演 高橋仁美 「次世代の理学療法士へ伝えること～継続すべきことと新たな挑戦のために～」	11 医療と介護および福祉の連携
特別講演Ⅰ 矢吹省司 「次世代の理学療法士へ伝えること ～私の 38 年の経験から～」	97 疼痛管理
特別講演Ⅱ 宮崎慎二郎 「超高齢社会における内部障害と理学療法戦略」	100 呼吸理学療法
モーニングセミナー 須賀康平 「挑戦と失敗を重ねたアメリカ理学療法士への軌跡：挑戦継続の意義」	13 国際支援における理学療法
スキルアップセミナーⅠ 成田崇矢 「腰痛理学療法における現状と今後の展望」	88 運動器疾患の理学療法
スキルアップセミナーⅡ 森岡周 「ヒューマン・テクノロジー・ナラティブの交差点～神経心理学における継承と革新～」	77 中枢神経疾患の理学療法
教育講演Ⅰ 上野順也 「Routineでは終わらせない がん理学療法 ～次世代へのメッセージ～」	116 がんのリハビリテーション
教育講演Ⅱ 横井悠加 「骨盤底から考えるウィメンズヘルス理学療法 ～次世代の視点とスキル～」	126 ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法
教育講演Ⅲ 北谷正浩 「いきる力を支える地域理学療法と人づくり ～持続可能な地域医療と次世代への継承～」	164 生活期の理学療法
教育講演Ⅳ 儀間裕貴 「理学療法に発達科学の知見を活かす」	122 小児・発達障害の理学療法
参加型シンポジウムⅠ 猪狩僚 中田隆文 高木憲司 「未来を見据えた地域共生社会の構築」	7 地域リハビリテーション
参加型シンポジウムⅡ 林 哲生 折内 英則 佐藤 努 「理学療法の実践と原点回帰」	3 理学療法概論
東北ブロック協議会教育研修部主催研修会 古川 勉寛 「誰でも明日から始められる臨床研究～症例研究のすすめかた～」	48 研究法

【履修登録に関する重要なお知らせ】

・履修目的の選択について

セミナー申し込み時に履修目的を選択してください。

一度選択した履修目的は変更できませんので、内容をご確認のうえでご選択ください。

・JPTA アプリについて

履修登録には「JPTA アプリ」の QR コード読取機能を使用します。

事前に以下の URL よりアプリをダウンロードください（推奨）。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newssystem/>

アプリの最新版状態、およびログイン ID・パスワードをご確認のうえ、事前にログイン可能か必ずご確認ください。

・学術大会参加の履修登録について

学術大会参加の履修登録は、「現地参加」「オンデマンド参加」とともに会期中に学術大会参加用 QR コードを読み取ることで履修登録されます。登録後は、各自マイページにて履修登録の完了をご確認ください。

※「現地開催」と「オンデマンド開催」の重複履修は認められていません。

重複履修が判明した場合は、後日履修取り消しの対応を行い、該当者には個別にご連絡いたします。

・個別プログラムの履修登録について

個別プログラムは入退室管理により履修登録を行います。

開始時から終了時までの参加が履修ポイント付与の条件です。

JPTA アプリで QR コードの読み取りを行ってください。

QR コードの掲示場所：第一会場は出入口付近、第二会場は会場内スクリーン上に表示されます

遅刻・早退については出入口スタッフが確認し、該当者には履修ポイントの付与は行いません。

※万が一、遅刻・早退者の履修登録が確認された場合でも、後日、履修取り消しの対応を行います。該当者には別途ご連絡いたします。

※お手洗い等で一時退室する際は、出入口スタッフに必ずお申し出ください。

退室中の経過時間を記録いたします。

・JPTA アプリ QR コード読取トラブルについて

JPTA アプリが使用できない場合や QR コード読み取りエラーが発生した場合は、速やかにスタッフまでお申し出ください。紙面での登録受付にて対応いたします。

・前期研修・後期研修履修者の履修登録について

前期・後期研修の履修者には生涯学習ポイントの付与はありませんが、履修登録を行うことでマイページ上に受講履歴が反映されます。ぜひ登録を行ってください。

【発表者、座長、講師、査読者に関する履修登録】

下記に該当する方には、学会側にて一括で点数付与いたしますので、**個別の申請は不要**です。

- ・ブロック学会での一般発表（筆頭演者）：（必須要件）0-1）または4-1）20 点
- ・ブロック学会での講演講師・シンポジウム・パネリスト：4-2）20 点
- ・ブロック学会での演題査読：4-4）5 点
- ・ブロック学会での座長：5-2）10 点

大会企画プログラム

モーニングセミナー

タイトル：挑戦と失敗を重ねたアメリカ理学療法士への軌跡：挑戦継続の意義

時間：9月27日（土） 10：00～11：00

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール：オンライン）

講師	須賀 康平 氏	FuncPhysio NY
座長	森山 信彰 氏	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

大会長基調講演

タイトル：次世代の理学療法士へ伝えること～継続すべきことと新たな挑戦のために～

時間：9月27日（土） 11:40～12:40

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

講師	高橋 仁美 氏	福島県立医科大学
座長	黒田 昌宏 氏	みゆき会病院

特別講演Ⅰ

タイトル：次世代の理学療法士へ伝えること～私の38年の経験から～

時間：9月27日（土） 14:00～15:00

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

講師	矢吹 省司 氏	福島県立医科大学
座長	神先 秀人 氏	福島県立医科大学

特別講演Ⅱ

タイトル：超高齢社会における内部障害と理学療法戦略

時間：9月28日（日） 11:10～12:10

場所：パルセいいざか 大ホール（第1会場）

講師	宮崎 慎二郎 氏	KKR高松病院
座長	高橋 仁美 氏	福島県立医科大学

スキルアップセミナーⅠ

タイトル：腰痛理学療法における現状と今後の展望

時間：9月27日（土）15:10～16:10

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

講師	成田 崇矢 氏	桐蔭横浜大学
座長	小俣 純一 氏	福島県立医科大学

スキルアップセミナーⅡ

タイトル：ヒューマン・テクノロジー・ナラティブの交差点 ～神経理学療法における継承と革新～

時間：9月28日（日）10:00～11:00

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

講師	森岡 周 氏	畿央大学
座長	阿部 浩明 氏	福島県立医科大学

教育講演Ⅰ

タイトル：Routineでは終わらせない がん理学療法 ～次世代へのメッセージ～

時間：9月27日（土）16:20～17:20

場所：パルセいいざか 第2会場（第1会議室）

講師	上野 順也 氏	国立がん研究センター東病院
座長	山本 優一 氏	北福島医療センター

教育講演Ⅱ

タイトル：骨盤底から考えるウィメンズヘルス理学療法：次世代の視点とスキル

時間：9月28日（日）13:10～14:10

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

講師	横井 悠加 氏	城西国際大学
座長	佐藤 絢 氏	医療生協 わたり病院

教育講演Ⅲ

タイトル：いきる力を支える地域理学療法と人づくり ～持続可能な地域医療と次世代への継承～

時間：9月28日（日）13:10～14:10

場所：パルセいいざか 第2会場（第1会議室）

講師	北谷 正浩 氏	石川県理学療法士会
座長	齊藤 隆 氏	介護老人保健施設 サンライフゆもと

教育講演Ⅳ

タイトル：理学療法に発達科学の知見を活かす

時間：9月28日（日）14:20～15:20

場所：パルセいいざか 第2会場（第1会議室）

講師	儀間 裕貴 氏	東京都立大学
座長	楠本 泰士 氏	福島県立医科大学

参加型シンポジウムⅠ

タイトル：未来を見据えた地域共生社会の構築

時間：9月27日（土）16:20～17:20

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

座長	舟見 敬成 氏	総合南東北病院
シンポジスト	中田 隆文 氏	マリオス小林内科クリニック
シンポジスト	高木 憲司 氏	和洋女子大学
シンポジスト	猪狩 僚 氏	合同会社ソラリコ

参加型シンポジウムⅡ

タイトル：理学療法の実践と原点回帰

時間：9月28日（日）14:20～15:20

場所：パルセいいざか 第1会場（大ホール）

座長	高橋 仁美 氏	福島県立医科大学
シンポジスト	林 哲生 氏	福島県立医科大学
シンポジスト	折内 英則 氏	総合南東北病院
シンポジスト	佐藤 努 氏	医療生協 わたり病院

イブニング企業セミナーⅠ

企業名：大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部

タイトル：更年期の疾患～エクオールが寄与する可能性～

時間：9月27日（土）17:30～18:20

場所：パルセいいざか 第2会場（第1会議室）

講師	川上 亮一 氏	かわかみ整形外科クリニック
座長	矢吹 省司 氏	福島県立医科大学

イブニング企業セミナーⅡ

企業名：エア・ウォーター・メディカル株式会社事業本部 新事業開発部

時間：9月27日（土）17:30～18:20

場所：パルセいいざか 第3会場（第2会議室）

① “動き続ける”を支えるために ―呼吸器疾患患者・車椅子使用者の身体活動―

講師	遠藤 康裕 氏	福島県立医科大学
座長	佐藤 聡見 氏	福島県立医科大学

② 新時代の心臓リハビリテーション ―遠隔リハビリテーションの現在地と未来図―

講師	佐藤 聡見 氏	福島県立医科大学
座長	遠藤 康裕 氏	福島県立医科大学

東北ブロック協議会教育研修部主催研修会

タイトル：誰でも明日から始められる臨床研究 ～症例研究のすすめかた～

時間：9月28日（日）10:00～11:00

場所：パルセいいざか 第2会場（第1会議室）

講師	古川 勉寛 氏	医療創生大学
座長	百足 昭一郎 氏	白河厚生総合病院

体験型市民公開講座

タイトル：スポーツ万能！楽しく動く体づくり講座 ～ケガを防ぎ、パフォーマンスを高めよう！～

時間：9月28日（日）14:00～15:30

場所：福島市立大鳥中学校（体育館）

講師	服部 和彦 氏	やまぐち整形外科クリニック
座長	今野 裕樹 氏	医療創生大学

モーニングセミナー

挑戦と失敗を重ねたアメリカ理学療法士への軌跡：挑戦継続の意義

2025/09/27(土) - 10:00 ～ 11:00 : (第1 会場 (大ホール))

講師



すが こうへい
須賀 康平

FuncPhysio NY

ご略歴

学歴

2005～2009 山形県立保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科
2011～2013 大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士課程
2019～2020 ロマリンダ大学 Post-Professional DPT course
2020～2021 ピッツバーグ大学 Musculoskeletal Concentration course

経歴

2009～2018 済生会山形済生病院
2018～現在 Physical Conditioning IKI (イキ) 代表
2022～現在 FuncPhysio NY

資格

理学療法士 (米国、日本)
理学療法臨床博士 (DPT)
英語教授法 TESOL 認定
Fascial Manipulation® スペシャリスト
前庭理学療法上級認定理学療法士

論文

- ＜シンポジスト＞ 自分の将来をポジティブに～セルフデザイン (SD) ～」海外での起業／就業. 第58回日本理学療法学会学術研修大会, 2023年5月
- ＜国際学会＞ Fascia and Pain Neuroscience Interventions Improved Delayed Recovery with Chronic Disability Following Hip Periacetabular Osteotomy. Kohei Suga, PT, DPT, MSc and Heidi Prather, DO, Feb. 2025, アメリカ理学療法全国学会 CSM, 他

座長

森山 信彰 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

講演概要：モーニングセミナー

挑戦と失敗を重ねたアメリカ理学療法士への軌跡：挑戦継続の意義

須賀 康平

FuncPhysio NY

私のNYで理学療法士として働くまでのキャリアは、成功よりもむしろ失敗と試行錯誤の連続であった。山形県立保健医療大学に進学し、卒業後は山形済生病院に勤務、9年間にわたり急性期から慢性期まで幅広い疾患を持つ方々に対して理学療法を実践した。また、フルタイム勤務の傍ら、大学院にてバイオメカニクスの研究にも従事し、技術講習会等に積極的に参加するなど研鑽を積んだ。病態の複雑さに触れる中で、筋骨格系、神経系、心理社会的要因、そして筋膜系の影響を含めた統合的な理学療法の必要性を強く認識するようになった。2018年には、自費のコンディショニングスタジオ「Physical Conditioning IKI」を設立した。これは、自費領域での臨床実践を試みたいという動機に加え、アメリカ大学院留学の夢を叶えるための資金調達と英語学習に専念するためでもあった。

その後、世界基準の理学療法を学ぶため、30代前半でロマリンド大学Transitional Doctor of Physical Therapy (t-DPT) 課程へ留学を果たした。その過程では、英語試験を21回受験し、志望であったNY大学には2度不合格となるなど、多くの困難があった。筋骨格系および前庭理学療法の更なる研鑽のため、これらの分野で評価の高いピッツバーグ大学の臨床修士課程に進学した。複数の教授より推薦状を得て大学関連病院への就職を目指したが、面接機会さえ与えられることはなかった。次に、世界の中心地で臨床経験を積みたいという想いを抱き、最終的にNYでの就職を決断した。幸いにも、イタリアにて取得したFascial Manipulation®の国際認定資格をきっかけに、全米で常にトップランクである整形外科病院Hospital for Special Surgery (HSS) の医師たちから、複雑かつ難治性の疼痛症例を紹介されるようになった。その認定がきっかけであったものの、日本時代も含めて培った包括的かつ学術的知識を統合した臨床知が評価され、NY州外からも理学療法のために来院いただけるようになった。

本講演では、私が歩んできた試行錯誤の過程と、挑戦と失敗によって積み重なった経験や知識が今にどのように活かしているのかを共有させていただく。聴講者の皆様が今後挑戦を継続し、何かを得ていくにあたっての参考となれば幸いである。

大会長基調講演

次世代の理学療法士へ伝えること
～継続すべきことと新たな挑戦のために～

2025/09/27(土) - 11:40 ～ 12:40 : (第1会場 (大ホール))

大会長



たかはし ひとみ
高橋 仁美

福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科

ご略歴

学歴

博士 (医学)

経歴

1983年4月～ 市立秋田総合病院 リハビリテーション科
2020年3月
2020年4月～ 国際医療福祉大学 保健医療学部理学療法学科 教授
2021年3月
2020年4月～ 国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻理学療法学分野 教授
2021年3月
2021年4月～ 福島県立医科大学 保健科学部理学療法学科 教授
2025年3月
2021年4月～ 同大学、医学部リハビリテーション医学講座 教授 (兼務)
2025年3月
2021年4月～ 同大学、附属病院リハビリテーションセンター 教授 (兼務)
2025年3月
2023年4月～ 同大学、保健科学部理学療法学科 学科長
2025年3月
2025年4月～ 同大学、保健科学部理学療法学科 特任教授
現在
2025年4月～ しのぶ山テラス株式会社 取締役
現在

資格

公益社団法人日本理学療法士協会 名誉会員
 現職：福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 特任教授
 しのぶ山テラス株式会社 取締役

受賞歴等

2019年11月 令和元年度環境・保険事業功労者表彰医療功労者受賞（秋田県）
 2017年11月 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会功労賞
 2017年2月 第35回日本理学療法士協会協会賞（功労分野）
 2013年10月 平成25年度日本呼吸ケア・リハビリテーション学会賞
 2013年2月 第41回医療功労賞(県)
 2008年10月 第18回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 優秀賞
 2006年11月 The 11th Congress of The Asian Pacific Society of Respiriology The Best Poster賞
 2005年5月 第39回 日本理学療法学会 優秀賞
 2004年11月 第13回 Pneumo Forum賞

論文

- COVID-19に対する呼吸リハビリテーションに関する調査報告
 石川 朗, 植木 純, 神津 玲, 安藤 守秀, 桂 秀樹, 黒澤 一, 佐野 恵美香, 佐野 裕子, 高橋 仁美, 玉木 彰 …
 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 32(Suppl.) 90s-90s 2022年10月
- Objective physical activity level is associated with rectus femoris muscle echo-intensity in patients with chronic obstructive pulmonary disease.
 Kazuki Okura, Masahiro Iwakura, Atsuyoshi Kawagoshi, Keiyu Sugawara, Hitomi Takahashi, Takanobu Shioya
 The clinical respiratory journal 16(8) 572-580 2022年8月
- Prediction of Low-intensity Physical Activity in Stable Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.
 Atsuyoshi Kawagoshi, Masahiro Iwakura, Yutaka Furukawa, Keiyu Sugawara, Hitomi Takahashi, Takanobu Shioya
 Physical therapy research 25(3) 143-149 2022年
- Functionally relevant threshold of inspiratory muscle strength in patients with chronic obstructive pulmonary disease
 Masahiro Iwakura, Masahiko Wakasa, Kazuki Okura, Atsuyoshi Kawagoshi, Keiyu Sugawara, Hitomi Takahashi, Takanobu Shioya
 Respiratory Medicine 188 106625-106625 2021年11月

座長

黒田 昌宏 みゆき会病院

講演概要：大会長基調講演

次世代の理学療法士へ伝えること ～継続すべきことと新たな挑戦のために～

高橋 仁美

福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科

私は理学療法士として40年以上、臨床・教育・研究に携わってきました。理学療法は「治療医学」であると同時に、人が新たな人生を築き、よりよく生きることを支える営みです。単に身体機能の回復を目指すのではなく、一人ひとりの生活に寄り添い、「その人らしく生きること」やウェルビーイングの実現を支えるものだと考えています。

本大会のテーマには、理学療法がこれまで築いてきた知識・技術、そして人に寄り添う心を未来に受け継ぎ、これからの時代に何に挑むべきかを次世代と共に考えたい、という思いを込めました。

私が理学療法士を志した原点には、東大物療内科で物理療法の臨床と研究に尽力した親族・高橋昶正の存在があります。彼は、日本において科学的根拠に基づく医療（EBM）と社会的責任の重要性をいち早く提唱した人物であり、その姿から、医療者としての在り方や考え方を学びました。

2025年、団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護の需要はさらに高まります。理学療法士には、病院や施設の枠を超えて地域社会に活動の場を広げ、地域包括ケア、慢性疾患、介護予防といった課題に積極的に関わることが求められます。そして、これからの社会には、これまで以上に多様な役割を果たし、広い視野で人々の暮らしを支えていく理学療法士の存在が必要となるでしょう。

その実践の一例として、私自身が今後、生活と活動の拠点とする予定でいる福島市信夫山の「しのぶ山テラス」をご紹介します。ここは、地域の人々が気軽に集い、心身の健康を育む“場”として、介護予防や運動支援、健康相談、交流促進など、理学療法士の専門性が活かされる新たなフィールドとなることを目指しています。

これからの理学療法士には、「専門職」としての誇りとともに、「地域の一員」としてのまなざしが必要です。本講演が、次世代を担う皆さんが自らの足場を問い直し、挑戦を恐れず未来を創るきっかけとなれば幸いです。

特別講演 I

次世代の理学療法士へ伝えること ～私の38年の経験から～

2025/09/27(土) - 14:00 ～ 15:00 : (第1会場 (大ホール))

講演者



やぶき しょうじ
矢吹 省司

福島県立医科大学

ご略歴

経歴

1962年1月27日生まれ
1987年 福島県立医科大学卒業 同整形外科入局
1993年 同大学 助手
1994年 Sweden Gothenburg (ヨーテボリ) 大学留学
1995年 福島県立喜多方病院整形外科 医長
1997年 California大学San Diego校 客員教授
2001年 福島県立医科大学整形外科 講師
2007年 福島県立医科大学医学部 准教授
附属病院リハビリテーションセンター 部長 (2014年6月まで)
2011年 福島県立医科大学医学部整形外科 教授 (現在も兼務)
2015年 福島県立医科大学医学部疼痛医学講座 教授 (寄付講座) (2025年3月まで)
2021年 福島県立医科大学保健科学部 学部長 (2025年3月まで)
福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 教授 (現在に至る)

座長

神先 秀人 福島県立医科大学

講演概要：特別講演Ⅰ

次世代の理学療法士へ伝えること
～私の38年の経験から～

矢吹 省司

福島県立医科大学

大学卒業後、整形外科医として38年働いてきた。2007年から7年間は、福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター部長として、2021年からは保健科学部理学療法学科教授として、理学療法に関わる仕事にも従事してきた。理学療法士とは車の両輪のように協力し合いながら働いてきた中で、理学療法士の真面目さ、優秀さを感じてきた。最近、慢性の痛みに対する中心となるべき治療法である運動療法を担当してもらってきた。次世代の理学療法士へ伝えることとしては、1) 今まで通り真面目に臨床に取り組んでほしい、2) 理学療法の有用性に関してエビデンスを示せるような研究をしてほしい、そして3) チーム医療の中心として、様々な疾患の重要な治療法である理学療法の発展に寄与してほしい。私の経験からの話が主になってしまいますが、皆様のお役に立つのであれば幸いです。

特別講演 II

超高齢社会における内部障害と理学療法戦略

2025/09/28(日) - 11:10 ~ 12:10 : (第1会場 (大ホール))

講演者



みやざき しんじろう
宮崎 慎二郎

KKR高松病院

ご略歴

学歴

2002年3月 四国リハビリテーション学院(現 四国医療専門学校) 理学療法学科 卒業
2016年3月 昭和大学大学院保健医療学研究科博士前期課程 修了 (保健医療学修士)
2022年3月 香川大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程 修了 (医学博士)

経歴

2002年4月 KKR高松病院 入職
2012年4月 KKR高松病院 リハビリテーションセンター センター長
2025年4月 KKR高松病院 リハビリテーションセンター センター長 兼 リハビリテーション科 技師長

資格

内部障害専門理学療法士
心臓リハビリテーション上級指導士
呼吸療法認定士
呼吸ケア指導士
リハビリテーション栄養指導士

受賞歴等

第15回日本呼吸管理学会学術集会 優秀演題賞
第39回四国理学療法士学会 学会長賞
第24回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 優秀演題賞
第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 優秀演題賞
第8回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 学会賞
第12回日本循環器学会コメディカル賞 最優秀賞

所属学会・所属委員会・役員等

日本呼吸理学療法学会 理事
日本循環器理学療法学会 評議員
日本リハビリテーション栄養学会 理事
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 代議員
日本心臓リハビリテーション学会 評議員

座長

高橋 仁美 福島県立医科大学

講演概要：特別講演Ⅱ

超高齢社会における内部障害と理学療法戦略

宮崎 慎二郎

KKR高松病院

私が理学療法士となった2000年頃、呼吸器疾患や循環器疾患などの内部障害に対する理学療法は、一部の先駆者によって限られた場面で実施される診療行為でした。しかし、四半世紀を経た現在、超高齢社会の進展と健康寿命延伸への挑戦の中で、理学療法士が内部障害を有する患者を目の前にすることが当たり前となりました。加齢は疾患発症のリスク因子であり、多疾患併存や重複障害の割合も増加しています。さらに、高齢者における諸症状は緩徐に進行する 경우가多く、適切な診断や加療がされていない潜在的な疾患の併存は主病名のみに対する理学療法を行っても、良好なアウトカムが得られない一因となります。

内部障害は、運動耐容能や身体活動、ADL、QOL、さらには生命予後にも影響を及ぼすため、我々理学療法士が積極的に介入すべき領域です。運動療法は内部障害に伴う機能・能力低下の予防および改善に有効な手段であり、多くのガイドラインにおいて高いエビデンスと推奨度が示されています。さらに近年、内部障害の病態や予後に骨格筋が深く関与していることが明らかとなり、理学療法士に求められる専門性は一層高まっています。活動や参加の面においても、内部障害を含む重複障害によって生じる問題を的確に把握し、具体的な解決策を提示することは理学療法士の重要な役割です。

内部障害の現状と今後、理学療法の効果、骨格筋の重要性、さらには栄養療法などを含めた包括的戦略について考えることで、本講演が日常診療での問題解決の糸口となり、超高齢社会を支える理学療法の実践につながれば幸いです。

スキルアップセミナー I

腰痛理学療法における現状と今後の展望

2025/09/27(土) - 15:10 ~ 16:10 : (第1会場 (大ホール))

講師



なりた たかや
成田 崇矢
桐蔭横浜大学

ご略歴

学歴

1997年 群馬大学医療技術短期学部理学療法学科 卒業
2002年 群馬大学医学部保健学科理学療法専攻 卒業
2010年 筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程 (体育学) 修了
2013年 早稲田大学スポーツ科学研究科博士後期課程 (スポーツ科学) 修了

経歴

1997年4月～2000年3月 高德会 上牧温泉病院 理学療法士
2000年4月～2008年3月 龍邦会 東前橋整形外科 理学療法士
2008年4月～2009年3月 つくば国際大学医療保健学部理学療法学科 助手
2009年4月～2019年3月 健康科学大学健康科学部理学療法学科 (助教・講師・准教授・教授)
2019年4月～ 現職 (桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科 教授)

座長

小俣 純一 福島県立医科大学

講演概要：スキルアップセミナーⅠ

腰痛理学療法における現状と今後の展望

成田 崇矢

桐蔭横浜大学

「腰痛理学療法における現状と今後の展望」では、腰痛患者に対する現在の医療、理学療法の現状を総論として、解説した後、腰部疾患に対する私が考える以下のコンセプトを、椎間板腰痛を例に解説致します。

①（疼痛除去テストにより）痛みをとることで、原因組織・病態を推定する、②原因組織に加わるメカニカルストレスを推定し、機能評価を行い疼痛増強因子の特定する、③機能不全に対して、運動療法を提供する、④運動を行う事で痛みが軽減する成功体験を患者自身が感じる、⑤患者自身が痛みのマネジメントが出来るようになること

皆様と日本の医療、理学療法の未来を考える機会になればと思っています。

スキルアップセミナーⅡ

ヒューマン・テクノロジー・ナラティブの交差点
～神経理学療法における継承と革新～

2025/09/28(日) - 10:00 ～ 11:00 : (第1会場 (大ホール))

講師



もりおか しゅう
森岡 周

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

ご略歴

経歴

1992年	近森リハビリテーション病院理学療法士
1997年	仏・サンタンヌ病院留学
2004年	高知医科大学大学院博士課程修了博士(医学)
2007年	畿央大学大学院健康科学研究科主任・教授
2013年	畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター長・教授

所属学会・所属委員会・役員等

日本神経理学療法学会副理事長

その他

現在はJST CREST「マルチセンシング」領域共同研究者として、身体性認知科学の観点から、ナラティブと身体機能の相互作用に関する研究を日仏共同で推進している。

座長

阿部 浩明 福島県立医科大学

講演概要：スキルアップセミナーⅡ

ヒューマン・テクノロジー・ナラティブの交差点 ～神経理学療法における継承と革新～

森岡 周

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター

神経理学療法の臨床実践において、継承すべき基盤的価値と革新的アプローチの統合は不可欠である。本講演では、科学的厳密性と人間性の調和を軸に、次世代理学療法士が担うべき使命について検討する。

1. 継承すべき基盤と不変の原理

神経可塑性と運動制御の基本原則への深い理解は、神経理学療法の礎である。一症例を丹念に観察し分析する態度は時代を超えて変わらない。詳細な観察と症例報告の積み重ねが新たな示唆や仮説形成につながり、科学的根拠に基づく実践（EBP）の深化を支える。また、真のエンドポイントに寄与する評価を重視し、不確実性と向き合いながら患者と共に最善を追求し続ける姿勢が求められる。

2. 最新技術の臨床応用と実践スキル

人機一体ケアの概念に基づくマルチセンシング技術とAIを活用した精密医療により、神経障害の複雑な病態把握と個別化された介入が実現される。筆者らの研究では、姿勢制御や歩行分析において足圧中心などから得られる変数を機械学習により解析し、患者固有のサブタイプを特定している。脳卒中後上肢機能では、感覚予測と運動制御の関係性を基盤としたテクノロジー融合手法を開発し、脳卒中後疼痛に対しては従来の分類を超えたサブタイプ別アプローチを確立している。これらの技術を現場でどのように活用し、評価・治療に統合するかの実践的な方法を紹介する。

3. 患者の物語を活かす臨床アプローチ

患者の身体経験と語りが相互に影響し合いながら動的に構築される現象として、ナラティブ・エンボディメントの概念を提唱する。身体機能の変化が物語的自己に影響を与え、逆に物語的解釈が身体機能の変化を誘起するという双方向的なダイナミズムが生じる。また、間身体性の概念に基づき、患者と療法士が経験や意味を共有することで、従来の身体機能改善を超えた新たな治療効果を創出できる可能性がある。この理論を実際の臨床場面でどのように応用し、患者との関わりを深めるかについて具体的な事例を交えて示す。

4. 臨床実践への統合と今後の展望

次世代の理学療法士には、科学性と人間性を調和させ、マルチセンシング技術による客観的評価と患者の語りから得られる主観的経験を統合した、真に個別化された理学療法の実現が求められる。従来の慣習的医療からの脱却、標準的評価・治療の確立、質の高い縦断データベース構築、高度専門人材の育成が不可欠である。技術革新を取り入れながらも、人間の尊厳と物語性を重視し、行為する主体者としての意識を復権させる姿勢こそが、理学療法の未来を切り拓く鍵となる。本講演を通じて、臨床実践に活かせる具体的な視点を提供する。

教育講演 I

Routineでは終わらせない がん理学療法 ～次世代へのメッセージ～

2025/09/27(土) - 16:20 ～ 17:20 : (第2会場 (第1会議室))

講師



うえの じゅんや
上野 順也

国立がん研究センター東病院

ご略歴

学歴

順天堂大学大学院 医療保健学研究科理学療法修士

経歴

2002年 理学療法士免許取得
2002年 社会医療法人裕生会みどりヶ丘病院
2005年 関西電力病院
2012年 国立がん研究センター東病院
2021年 国立がん研究センター東病院 リハビリテーション室長 拝命

受賞歴等

第22回 呼吸ケアリハビリテーション学会 優秀演題賞
第73回 食道学会 会長奨励賞

所属学会・所属委員会・役員等

公益社団法人 日本理学療法士協会 国際部会アジア人材育成プログラム委員
一般社団法人 日本がんサポーターズケア学会 高齢者部会委員
一般社団法人 日本癌治療学会

座長

山本 優一 北福島医療センター

講演概要：教育講演 I

Routineでは終わらせない がん理学療法
～次世代へのメッセージ～

上野 順也

国立がん研究センター東病院

がん医療の進展に伴い、がんは急性期疾患としての性格のみならず、慢性疾患として長期的にマネジメントすべき対象へと変容しつつある。こうした医療的背景の変化により、理学療法士に求められる役割も多様化・高度化している。がん患者に対する理学療法は、単なる機能回復を目的とするのではなく、全人的支援の一環として、QOLの維持・向上、ならびに尊厳ある生を支えるための重要な手段となり得る。本演題では、「Routineでは終わらせない」をキーワードに、がん理学療法における実践と展望について、次世代への提言を試みる。

まず、継続すべき実践項目として、①がん治療と併行した個別化運動療法の提供、②がん性疲労、骨転移、リンパ浮腫等に対する病態特異的アプローチの実施、③急性期から緩和期に至るまでの包括的かつ継続的なリハビリテーションの介入体制の構築が挙げられる。とりわけ、近年の系統的レビューやランダム化比較試験（RCT）により、治療中の運動介入が安全かつ有効であることが示されており、早期介入の重要性は明確である。また、患者の予後や治療目標、価値観を踏まえた個別化支援は、標準的介入にとどまらない柔軟な臨床判断を必要とする実践領域であり、引き続き重視されるべきである。

一方、今後の課題として、①科学的根拠に基づく実践の推進、②デジタル技術（遠隔モニタリング、ウェアラブルデバイス等）を活用した新たな介入モデルの構築、③高齢者、AYA世代、希少がん患者を含む多様な対象群への適応的支援体制の整備が求められる。現時点では、がん理学療法に関する大規模な臨床研究や介入試験は限定的であり、今後は臨床と研究の両輪を意識した活動が不可欠である。また、急速に変化する医療環境において、理学療法士が専門職としての柔軟性と創造性を発揮することが、新たな専門領域の確立にも寄与するであろう。

教育講演 II

骨盤底から考えるウィメンズヘルス理学療法：次世代の視点とスキル

2025/09/28(日) - 13:10 ～ 14:10 : (第1会場 (大ホール))

講師



よこい ゆか
横井 悠加

城西国際大学

ご略歴

学歴

- 2001年3月 行岡保健衛生学園 行岡リハビリテーション専門学校 理学療法学科 卒業
- 2008年8月 University of South Australia Master of Orthopaedics, Sports and Manual Physiotherapy 修了
- 2014年3月 信州大学大学院 総合工学系研究科 生命機能・ファイバー工学専攻 修了
- 2016年12月 University of Melbourne Postgraduate Certificate in Physiotherapy (Pelvic Floor Rehabilitation) 修了

経歴

- 2001年4月 医療法人祐生会 みどりヶ丘病院 リハビリテーション部 理学療法士
- 2010年10月 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 理学療法学科 専任講師
- 2017年4月 学校法人城西大学 城西国際大学 理学療法学科 助教
- 2021年4月 学校法人城西大学 城西国際大学 理学療法学科 准教授

資格

国際整形徒手理学療法士 (OMPT)
運動器認定理学療法士

所属学会・所属委員会・役員等

(一社) 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会 副理事長
日本老年泌尿器科学会 評議員
日本物理療法研究会 評議員

座長

佐藤 絢 医療生協 わたり病院

講演概要：教育講演Ⅱ

骨盤底から考えるウィメンズヘルス理学療法：
次世代の視点とスキル

横井 悠加

城西国際大学

妊娠・分娩は骨盤底機能障害を誘起する主要リスク因子の一つとして報告されているが、その症状は妊娠・分娩の直後に生じるだけでなく、安全に分娩を終えた後、何十年も経過してから初めて発症することも稀ではない。特に、分娩をきっかけに骨盤内の結合組織や骨盤底筋群が脆弱化し、膀胱・子宮・直腸が腔内に下垂、または腔から体外に脱する骨盤臓器脱（Pelvic Organ Prolapse: POP）は、分娩回数に比例してそのリスク比が増加し、未経産女性に比べ4人以上の経産婦では10.7となることが報告されている（DeLancy, 2005）。加えて、POP発症の最たるリスク因子として骨盤底筋群の剥離が報告されており、骨盤底筋群の機能改善がPOP管理における重要な鍵となることが示唆されている（Friedman et al., 2018）。

骨盤底筋群の機能改善には、骨盤底筋トレーニング（Pelvic Floor Muscle Training: PFMT）を含めた理学療法の有効性が広く認知されており、欧米諸国では女性のライフステージ全体を通して理学療法士に相談することができる。一方、本邦では認知度の低さや保険非適応であること、羞恥心等から、周囲の人たちに相談することも難しく、医療機関を受診する女性も少ないのが現状である。

骨盤底機能障害の代表疾患である腹圧性尿失禁に対するPFMTの費用対効果を検証した先行研究では、ペッサリー等の他保存療法に比べ、PFMTで最も純金銭便益（net monetary benefit: NMB）が高かったことを報告している（Simpson et al., 2019）。上述より、ウィメンズヘルス領域における理学療法は、女性の健康維持・改善に留まらず、社会的視点からもその役割は大きいと考える。

本講演では、上述した背景を踏まえ、理学療法士が骨盤底筋群をみる上で着目する点、および個々の状態に即した理学療法の展開について述べる。本講演が骨盤底理学療法の視野を広げるきっかけとなり、臨床での一助となれば幸いである。

教育講演Ⅲ

いきる力を支える地域理学療法と人づくり
～持続可能な地域医療と次世代への継承～

2025/09/28(日) - 13:10 ～ 14:10 : (第2会場 (第1会議室))

講師



きたたに まさひろ
北谷 正浩

石川県理学療法士会/会長

ご略歴

経歴

1983年	東京衛生学園専門学校リハビリテーション科卒業 国立山中病院勤務
1986～2021年	羽咋郡市広域圏事務組合 公立羽咋病院勤務
1995～2020年	公益社団法人石川県理学療法士会 理事 (2021年～会長)
2000～2020年	石川県介護支援専門員協会 理事 (2021年～監事)
2022年～	志賀町地域包括支援センターで一体的実施に医療専門職として従事の傍ら市町の介護予防事業や介護サービス事業所(株式会社 愛笑)に従事

座長

齊藤 隆 介護老人保健施設 サンライフゆもと

講演概要：教育講演Ⅲ

いきる力を支える地域理学療法と人づくり ～持続可能な地域医療と次世代への継承～

北谷 正浩

石川県理学療法士会/会長

超高齢社会の進行、頻発する災害、そして人材不足による医療資源の限界——。こうした時代において、理学療法士に求められる役割はますます拡大しています。単なるリハビリテーションの提供者ではなく、地域包括ケアを推進するコーディネーター、また地域住民の「いきる力」を支える伴走者としての挑戦が求められています。

私は約40年にわたり石川県能登地域で地域医療とリハビリテーションに携わってきました。勤務していた中小規模の自治体病院では、地域包括ケア病棟と多職種連携を強みに、平成7年から29期連続で黒字経営を維持。在宅復帰支援や通所・訪問リハを展開し、医療・介護・行政連携にも参画してきました。

現在は被災地の地域包括支援センターで、高齢者の保健事業・介護予防の一体的実施に従事しつつ、住民が主体的に地域活動の実践者となるようシルバーリハビリ体操指導士の育成や通いの場支援、フレイル予防活動にも取り組んでいます。

令和6年能登半島地震では、自らも被災しながら石川県理学療法士会長として石川JRAT七尾地域本部で後方支援（ロジスティクス）を担い、通信・交通インフラが寸断された中、全国からの地域JRATの支援は大きな力となり、避難所で生活不活発病の予防活動を展開することができました。避難所の生活環境の整備や健康の二次被害の予防の経験は、平時からのネットワークと災害対応体制の必要性を再認識させるものでした。

こうした実践を支えることができたのは、認定地域理学療法士、糖尿病療養指導士、呼吸療法認定士、介護支援専門員等の資格を取得し、専門性の幅を広げてきたことがおおきな要因であったと感じています。スキル向上は住民支援の選択肢を広げ、次世代育成の説得力にもつながります。特に若手育成には、地域と「ともに生きる」姿勢が不可欠であり、研修や育成事業を通じてその重要性を実感しています。

本講演では、「いきる力」を「生きる＝いのちを守る力」「活きる＝前向きにともに暮らす力」と捉え、実践と育成の視点から「継続すべきこと」と「新たな挑戦」を考察します。

教育講演Ⅳ

理学療法に発達科学の知見を活かす

2025/09/28(日) - 14:20 ～ 15:20 : (第2会場 (第1会議室))

講師



ぎま ひろたか
儀間 裕貴
東京都立大学

ご略歴

学歴

2002年3月 医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 卒業
2012年3月 信州大学大学院 総合工学系研究科 修了

経歴

2002年4月 長崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部 入職
2005年4月 沖縄整肢療護園・若夏愛育園 訓練課 入職
2006年4月 沖縄県立中部病院 リハビリテーション科 入職
2008年4月 学校法人こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校 理学療法学科 入職
2013年4月 東京大学大学院教育学研究科 特任研究員
2016年4月 東京大学大学院教育学研究科 特任助教
2017年1月 鳥取大学 地域学部附属子どもの発達・学習研究センター 特命講師
2020年10月 東京都立大学 健康福祉学部 理学療法学科 助教
2021年10月 東京都立大学 健康福祉学部 理学療法学科 准教授

資格

神経専門理学療法士
小児専門理学療法士
保育士

所属学会・所属委員会・役員等

(一社) 日本小児理学療法学会理事
日本赤ちゃん学会理事
日本ディベロップメンタルケア研究会事務局長

座長

楠本 泰士 福島県立医科大学

講演概要：教育講演Ⅳ

理学療法に発達科学の知見を活かす

儀間 裕貴

東京都立大学

臨床現場で真摯に患者と向き合うセラピスト、教育現場で未来の理学療法士を育成する教員、理学療法の意義とメカニズムを追求する研究者にとどまらず、最近ではより広いフィールドで活躍する理学療法士が増え、その働き方や職域は拡大しています。これは単に我が国の理学療法士の母数が増えたことによるものではなく、理学療法士が探究心をもって社会での役割や使命を果たしてきた結果であるように思います。本教育講演では、特に「発達科学」の観点から理学療法士の探究心について考えたいと思います。また、「学際性」の視点の重要性を考えたいと思います。学際は「研究対象がいくつかの学問領域にまたがっていること。諸科学が総合的に協力すること。」とされています。どの職種が上、どの分野が下、どの学問領域が優れているといった上下や縦のイメージではなく、横に果てしなく広がるイメージです。

現在、私自身の探究心は、胎児期から始まる自発的な運動や感覚運動経験が、ヒトの発達過程にどのような役割をもつのかという問いに向いています。特に、脳・身体（運動・行動）・環境の間の相互作用に興味があり、この視点から理学療法に役立つ新しい知見を得たいと考えています。探究心の育まれ方は、ヒトの初期発達課程とよく似ている側面があると思います。まだまだ狭く浅いですが、私の探究心が育まれた過程と、これからどのようにその探究心をより育てていくかについて、自身の経験、ヒトの初期発達メカニズムと照らし合わせながら、論じたいと思います。

参加型シンポジウム I

未来を見据えた地域共生社会の構築

2025/09/27(土) - 14:20 ~ 15:20 : (第1会場 (大ホール))

シンポジスト



なかた たかふみ
中田 隆文

マリオス小林内科クリニック

ご略歴

経歴

1987年	岩手リハビリテーション学院 理学療法学科卒
1987年	盛岡友愛病院リハビリテーション科
1999年	盛岡友愛病院 在宅医療部
2004年	須藤内科クリニック リハビリテーション科 科長
2012年	岩手県教育委員会 非常勤講師 (現職)
2015年	もりおかこども病院 (非常勤)
2017年	マリオス小林内科クリニック リハビリテーション科 科長 (現職)

資格

内部障害理学療法専門理学療法士
生活環境支援理学療法専門理学療法士

所属学会・所属委員会・役員等

日本理学療法士協会
日本呼吸器学会
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 (代議員)
日本プライマリ・ケア連合学会
日本在宅医療連合学会 (評議員)
日本呼吸療法医学会
日本緩和医療学会
日本訪問リハビリテーション協会
日本呼吸理学療法学会
日本地域理学療法学会 (評議員)
日本小児理学療法学会
日本理学療法管理学会



たかき けんじ
高木 憲司

和洋女子大学

ご略歴

経歴

1964年生まれ
1987年 国立療養所福岡東病院付属リハビリテーション学院理学療法学科卒業
同年 国立別府重度障害者センター入職
2005年 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課社会参加推進室福祉用具専門官
2010年 同障害福祉課障害福祉専門官
2013年 同障害福祉課課長補佐（併任）
2014年より 和洋女子大学准教授、現在に至る

所属学会・所属委員会・役員等

日本理学療法士協会 会員
日本社会福祉士会 会員
日本社会福祉学会 会員
日本リハビリテーション連携科学学会 会員
日本福祉のまちづくり学会 会員
市川市自立支援協議会副会長

その他

専門
障害福祉、福祉用具等
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の研修体系について調査研究



いがり りょう
猪狩 僚

合同会社ソラリコ

ご略歴

経歴

1978年 いわき市生まれ
大学卒業後 ブラジル留学
2002年 いわき市役所入庁
2016年 地域包括ケア推進課配属
2017年 「いわきの地域包括ケアigoku（いごく）」プロジェクトを立ち上げ
2019年 グッドデザイン金賞を受賞
2025年7月 退職
同年8月 合同会社「ソラリコ」設立

座長

舟見 敬成 総合南東北病院

講演概要：参加型シンポジウム I

中田 隆文

マリオス小林内科クリニック

1) 地域共生社会

日本は超高齢化や一人暮らし世帯の増加を受け、新たな社会モデルとして「地域共生社会」の実現が提唱され、令和3年より属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業が開始されている。主に高齢者を対象とした地域包括ケアシステムは2025年以降、深化・推進されるが、地域共生社会は高齢者以外にも地域住民全てを包含した、より普遍的な社会理念として提唱されている。

2) 理学療法士の現状、課題、展望

地域ケア会議への参加や多職種との連携は、現在の診療報酬や介護報酬では評価されにくく、理学療法士の所属する病院や施設によっては地域活動への参加が難しい場合があること、理学療法士の養成課程において地域での多職種連携や住民への伝え方などの臨床技術以外のコミュニケーション能力や調整能力が不足していることが課題と考えられる。展望として、理学療法は単に身体機能を改善するだけでなく、その人らしい生活、すなわち「活動」と「参加」を支えることを理念としていることから、一人ひとりの生きがいを地域で支える「地域共生社会」の目標と密接な関係にあり、理学療法（士）の専門性を社会に役立てるための活動が求められる。理学療法士は未来の医療費・介護費を削減しうる「予防」の専門家としての活動や健康寿命の延伸に実績があり、さらに多職種連携、障害者スポーツ、健康経営など役割は幅広い。

演者は理学療法士として1999年より地域・在宅で活動しており、自治体の在宅医療介護連携事業、小児在宅医療・教育、内部障害の地域理学療法に携わってきた。これらの経験をもとに地域共生社会の実現のための理学療法士の意義や可能性を提言する。

講演概要：参加型シンポジウム I

高木 憲司
和洋女子大

私は現在、和洋女子大学にて社会福祉士養成に携わる教員です。昭和62年から18年間、国立別府重度障害者センターの理学療法士として、主に頸髄損傷者のリハビリテーションに従事してきました。多くの車椅子処方を行う中で補装具制度の課題に直面し、平成17年から厚生労働省にて補装具制度改革や、痰の吸引制度創設、重度訪問介護の対象拡大、障害者総合支援法改正等に関わりました。平成26年から現職となり、社会福祉士資格も取得し、現在に至ります。

本シンポジウム「未来を見据えた地域共生社会の構築」は、理学療法士が地域社会の多様な課題にどう向き合い、その役割をどう次世代に継承していくかを考える場です。本稿では、その背景と課題、今後の展望について述べます。

理学療法士への期待と課題

従来、病院等でリハビリを担っていた理学療法士ですが、近年では地域包括ケア、在宅医療、予防領域、住民への健康教育など、役割が大きく広がっています。医療専門職としての立場に加え、地域住民の健康づくりの伴走者や多職種連携の推進役としての役割が期待されています。

ただし、全ての分野に理学療法士が関与し続けることは、人的リソースから見ても現実的ではありません。今後は、「支援者への支援」が重要だと考えています。例えば、補装具や福祉用具、住宅や職場の環境整備に関し、福祉用具専門相談員や福祉住環境コーディネーターが携わる場面も増えていますが、全員が十分な知識や技術を持つとは限りません。こうした状況で、熟練した理学療法士が支援の現場に関わり、同行し、知識・技術を現場に移転することは、人材育成にもつながります。また、ある程度体制が整えば、理学療法士はその場を離れることもでき、効率的な関与が可能です。

さらに、福祉用具や補装具の分野は、発達障害や医療的ケア児、強度行動障害等の分野に比べ、支援者支援の取り組みが遅れています。本来、身体障害者更生相談所が役割を果たすべきですが、一部の相談所を除き、予算等の制約により実現が困難な現状です。

現在ではICTの活用により、現場訪問を最小限に抑えた効果的な支援も可能となっています。皆様にも、これからの地域共生社会における理学療法士の新たな役割として、「支援者支援」をキーワードに、何ができるかを考えるきっかけとしていただければ幸いです。

講演概要：参加型シンポジウム I

猪狩 僚

合同会社ソラリコ 代表

未来を見据えた地域共生社会の構築 — 「いごく」なPTが、福島を、未来を面白くする。

皆さん、はじめまして。私は2025年7月にいわき市役所を退職しました。市役所では「逆立ちしても出世できない」タイプの、いわゆる”ダメ”な公務員でした。いろんな部署をたらい回しにされ、2016年に流れていたのが「地域包括ケア推進課」という新設部署でした。

そこで出会ったのは、医療や介護の現場で働く人たちの、信じられないほどの「熱」でした。しかし、その熱い想いは、驚くほど市民に届いていなかった。一方で、いわきには最高に面白い「ジジイ」や「ババア」がたくさんいる。でも、世間では「老い」や「死」は縁起でもないタブー視されている。この巨大なギャップをどうにかしたい。その一心で、デザイナーやライターといった役所の外の仲間たちと、始めたのが「いわきの地域包括ケア igoku (いごく)」です。

私たちがやったことはシンプルです。「自分たちが読みたくなるもの、参加したくなるものを作る」。行政の言葉ではなく、自分たちの言葉で語る。フリーペーパーで「認知症を、解放する」と宣言し、フェスでは棺桶に入ってもらい。クレームを覚悟しましたが、結果は2019年のグッドデザイン金賞でした。審査員は「行政が主体となった挑戦的な企画」と評価してくれました。これは、小難しい政策論ではなく、デザインと熱が人の心を「いごかす（動かす）」ことを証明した瞬間でした。

この「ごちゃまぜ」の実践こそ、国が掲げる「地域共生社会」のリアルな姿だと私は信じています。制度の縦割りを越え、「支え手」「受け手」の関係性を越える。ケアされる対象だったおばあちゃんが、コミュニティ食堂で誰かにお茶を淹れる側になる。そんな風景を、私たちはたくさん見てきました。

さて、ここからが本題です。次世代の理学療法士である皆さんに、私は何を伝えられるか。皆さんは、人間の「動き」のプロフェッショナルです。しかし、これからの皆さんの仕事は、関節の可動域や歩行能力の改善だけにとどまらない。地域包括ケアの現場で求められるのは、人の心を、そして地域社会を「いごかす」力です。

身体の「動き（movement）」を創り出す専門家である皆さんは、社会的な「運動（movement）」を創り出す触媒になれる。ご利用者さんの社会的な孤立を見抜き、「あそこのサロン、面白いですよ」と処方する。皆さんの専門性は、組織や職種の壁を越え、地域を編み直し、ソーシャルキャピタルを醸成する力になるはずです。

私は22年勤めたいわき市役所を辞め、独立という一步を踏み出します。このムーブメントを、もっと自由に、もっと大きくするためです。さあ、皆さんの番です。「いごく」理学療法士として、この福島を、一緒に面白くしていきませんか。

参加型シンポジウムⅡ

理学療法の実践と原点回帰

2025/09/28(日) - 14:20 ～ 15:20 : (第1会場 (大ホール))

シンポジスト



はやし てつお
林 哲生

福島県立医科大学

ご略歴

経歴

1999年 産業医科大学 医学部 卒業
1999年 川崎医科大学麻酔科
2001年 九州大学整形外科
2009年 総合せき損センター
2012年 UCLA (University of California at Los Angeles)へ留学
2013年 総合せき損センター
2015年 産業医科大学リハビリテーション医学講 非常勤医師
2024年 福島県立医科大学リハビリテーション医学講座
現在に至る



おりうち ひでのり
折内 英則

総合南東北病院

ご略歴

経歴

北海道医療大学看護福祉学部医療福祉学科医療福祉専攻卒業
北海道医療新聞社編集部・ベストナース編集部記者
北海道千歳リハビリテーション学院理学療法学科卒業
医療法人ひまわり会札幌病院リハビリテーション部・主事
一財) 脳神経疾患研究所付属総合南東北病院リハビリテーション科・副主任

資格

認定理学療法士 (運動器)
栄養治療専門療法士 (リハビリテーション分野)
NST専門療法士
サルコペニア・フレイル指導士
リハビリテーション栄養指導士

所属学会・所属委員会・役員等

一財) 総合南東北病院リハビリテーション科副主任
福島県理学療法士会会報誌編集副委員長
日本リハビリテーション栄養学会認定・東北リハビリテーション栄養懇話会代表
福島県理学療法士会機関誌査読委員
医療創生大学客員准教授



さとう つとむ
佐藤 努

医療生協 わたり病院

ご略歴

経歴

2003年3月 山形医療技術専門学校 理学療法学科卒
2003年4月 医療法人慈誠会 猪又病院(現 医療法人青空会 大町病院)入職
2004年 同法人 介護老人保健施設ヨッシーランド移動(2011年:東日本大震災にて被災)
2012年～現在 医療生協 わたり病院

座長

高橋 仁美 福島県立医科大学

講演概要：参加型シンポジウムⅡ

林 哲生

福島県立医科大学

理学療法の歴史は、古代ギリシャ、医学の父と呼ばれるヒポクラテスまでさかのぼると言われておりケガや病気を治すために、太陽や水、熱の力を使った物理療法があり、これが理学療法やリハビリテーション医療の起源だと考えられています。また彼は「歩くことは最良の薬である」とも言っています。つまり理学療法はリハビリテーション医学の出発点といっても過言ではありません。

けがや病気などで身体に障がいのある人の治療として始まった理学療法は、今では治療のための施設だけでなく、高齢者の介護や介護予防、スポーツなど、広い分野で必要とされて発展してきています。一方で、医療が細分化・専門化されるがゆえに、リハビリテーション医療も急性期・回復期・生活期で大きく区切られており、患者さんを急性期から社会復帰まで一貫としてみるのができにくい構造になってきています。

総合せき損センターという九州にある脊髄損傷専門の病院に16年間勤務していた私は、リハビリテーション医療の原点をその病院を中心に学んできました。急性期からドクターヘリで運ばれてきた患者さんは、そこで手術・リハビリテーション医療を行い、約1年間入院して、社会復帰していきます。そして理学療法士は搬送直後の診察・評価から患者さんに携わります。それ以降、患者さんの合併症予防を行い、予後を予測し、訓練やアドバイスをを行い、社会復帰まで携わっています。医師が直接患者さんに接している時間は短く、理学療法士からの情報は非常に貴重です。股関節の異所性骨化による腫脹や可動域制限・歩行能力の向上・家屋調査から家庭復帰できるかどうか・家族の情報など患者さんに寄り添った情報を共有することができ、社会へ送り出す重要な役割を担っています。そして障害を持ちながらも元気に社会に出た患者さんは時折、病院へ遊びに来て今の患者さんを支援してピアサポートによる支援をしてくれます。患者さんから学ぶことも多く、患者さんと共に成長していくのがリハビリテーション職のアイデンティティーであり、今回、その原点回帰について講演をする。

講演概要：参加型シンポジウムⅡ

折内 英則

総合南東北病院

わが国の少子高齢社会は保健・医療・福祉の在り方に多くの課題を生み、それを改善しより良い社会を創生しようと多くの専門職者らが尽力されている。理学療法士もまた、多くの有識者らが幅広い分野で研究を行い、同時に臨床場面で対象者により良い理学療法を提供するため努力を重ねている。これまでの軌跡が今日の理学療法の発展に至っている。高い専門性が育まれた一方で、より複合的で包括的な知識と技術、ならびに豊かな社会性と知見が求められるようにもなった。

過去と比較して、より寿命が長くなり超高齢社会となった現在では、多くの疾患を抱えながら人生を歩む人も少なくない。すなわち、ある特定の疾患や現象に対して医療や福祉サービスを検討するだけでは十分とはいえなくなっている。理学療法も同様であろう。基礎疾患などの疾患特性を把握しながら主となる現象や症状に適切なプログラムを検討することが常である。同時に高齢者では特に、サルコペニアやフレイル、栄養障害なども視野に入れることも重要だ。また、独居や孤立、経済的困窮など社会的背景についても考慮した包括的な支援が求められる。

時代と社会変化、また人々の生活様式の変容を考慮しながらも、理学療法士として考えるべき運動療法や社会支援は基本に立ち返り検討を重ねることが必要である。身体機能やADL、QOLに加え、老年医学や公衆衛生、疫学などを踏まえた理学療法の内容や実践方法を科学的根拠に基づき検討すること、そして対象者の生活を考えることが原点回帰であり、その重要性は益々注目されるだろう。

講演概要：参加型シンポジウムⅡ

佐藤 努

医療生協 わたり病院

近年、理学療法は高度急性期から回復期、生活期、さらには地域包括ケアや健康増進、予防的介入に至るまで、その対象と活動領域を大きく広げている。こうした拡張とともに、理学療法士に求められる知識・技術・役割は日々多様化・高度化しており、現場では新たな課題と向き合いながら実践を積み重ねている。

その一方で、日々の業務に追われるなかで、「理学療法とは何か」「誰のために、何のためにこの専門性を活かすのか」という原点を見失いがちである。こうした問いに立ち振り返り続けることこそが、理学療法士としての倫理観や臨床判断の質を保ち、揺るぎない専門職としての軸を築くうえで不可欠である。

私自身、2011年の東日本大震災において勤務先の介護老人保健施設が被災した経験から、単に身体機能を改善することではなく「人を支え続けること」こそが理学療法の本質であることをあらためて痛感した。被災という非日常のなかで見てきたものは、むしろ理学療法の本質であり、原点であったといえる。

急速に変化し続ける社会のなかだからこそ、立ち止まり、足元を見つめ直すことが必要である。原点への回帰は決して後戻りではなく、未来を照らす新たな展望を開く契機となる。本シンポジウムでは、理学療法の実践の多様な現場において「原点」に立ち振り返り、「人に寄り添う専門職」としての理学療法のあり方をあらためて見つめ直したい。

参加される皆さま一人ひとりが、日々の実践を振り返り、明日からの理学療法に小さくとも確かな変化を生み出せるような場となれば幸いである。

イブニング企業セミナー I

更年期の疾患～エクオールが寄与する可能性～

2025/09/27(土) - 17:30 ～ 18:20 : (第2会場 (第1会議室))

講師



かわかみ りょういち
川上 亮一

かわかみ整形外科クリニック

ご略歴

学歴

昭和63年3月 福島県立福島高等学校 卒業
平成3年3月 中央大学法学部法律学科 卒業
平成9年3月 福島県立医科大学 医学部 卒業

経歴

令和2年4月 福島県立医科大学 外傷再建学講座 特任准教授
令和2年4月 福島市にかわかみ整形外科クリニック 開院

資格

医学博士
日本整形外科学会 専門医
日本手外科学会 手外科専門医
日本スポーツ協会 スポーツドクター

座長

矢吹 省司 福島県立医科大学

第43回東北理学療法学術大会 in Fukushima イブニング企業セミナー (A-2)

- 日 時： 2025年9月27日(土)17:30～18:20
- 開催形態： 現地開催
- 定 員： 現地200名（先着順）
- 会 場： 第2会場（パルセいいざか 第1会議室）

「更年期の疾患 ～エクオールが寄与する可能性～」

演者：かわかみ整形外科クリニック 院長
川上 亮一 先生

座長：福島県立医科大学 医学部整形外科学講座/
保健科学部理学療法学科 教授
矢吹 省司 先生

イブニング企業セミナーⅡ ①

”動き続ける”を支えるために ～呼吸器疾患患者・車椅子使用者の 身体活動～

2025/09/27(土) - 17:30 ～ 18:20 : (第3会場 (第2会議室))

講師



えんどう やすひろ
遠藤 康裕

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科

ご略歴

学歴

2009年 青森県立保健大学 健康科学部 卒業
2011年 群馬大学大学院 保健学研究科 博士前期課程 修了
2014年 群馬大学大学院 保健学研究科 博士後期課程 修了

経歴

2009～2017年 上武呼吸器科内科病院 勤務
2017～2022年 仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科 講師
2022年～現在 福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 講師

資格

専門理学療法士（スポーツ、運動器）
三学会合同呼吸療法認定士
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
日本パラスポーツ協会公認パラスポーツトレーナー

所属学会・所属委員会・役員等

仙台市障害者スポーツ協会専務理事
宮城県ボッチャ協会理事

座長

佐藤 聡見 福島県立医科大学

イブニング企業セミナーⅡ ②

新時代の心臓リハビリテーション～遠隔リハビリテーションの現在地と未来図～

2025/09/27(土) - 17:30 ～ 18:20 : (第3会場 (第2会議室))

講師



さとう としみ
佐藤 聡見

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科

ご略歴

学歴

2007年 山形県立保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科 卒業
2018年 東北大学大学院 医学系研究科 障害科学専攻 博士前期課程 修了
2021年 東北大学大学院 医学系研究科 障害科学専攻 博士後期課程 修了

経歴

2007年～2023年 総合南東北病院 リハビリテーション科 勤務
2023年～現在 福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 勤務
2023年～現在 福島県立医科大学 附属病院 リハビリテーションセンター 兼務

資格

専門理学療法士 (心血管理学療法)
心臓リハビリテーション指導士
介護支援専門員

所属学会・所属委員会・役員等

日本循環器理学療法学会 (評議員、研究推進委員、学術集会委員)
日本臨床運動療法学会 (評議員)
日本心臓リハビリテーション学会
日本腎臓リハビリテーション学会
日本予防理学療法学会
日本栄養・嚥下理学療法学会
International Confederation of Cardiorespiratory Physical Therapists
International Association of Physical Therapists working with Older People

座長

遠藤 康裕 福島県立医科大学

第43回東北理学療法学会大会 イブニング企業セミナー

2025.9.27(SAT) | 17:30- 18:20

📍 パルセいいざか 第3会場

〒960-0201福島市飯坂町字筑前27-1

演題1：“動き続ける”を支えるために

-呼吸器疾患患者・車いす使用者の身体活動-

座長	福島県立医科大学	保健科学部理学療法学科	講師	佐藤 聡見 先生
演者	福島県立医科大学	保健科学部理学療法学科	講師	遠藤 康裕 先生

演題2：新時代の心臓リハビリテーション

-遠隔リハビリテーションの現在地と未来図-

座長	福島県立医科大学	保健科学部理学療法学科	講師	遠藤 康裕 先生
演者	福島県立医科大学	保健科学部理学療法学科	講師	佐藤 聡見 先生

共催：第43回東北理学療法学会大会/エア・ウォーター・メディカル株式会社

地球の恵みを、社会の望みに。

 **エアウォーター・メディカル株式会社**
東京都港区虎ノ門三丁目18番19号

お問い合わせ：info-awmi-reha@awi.co.jp

東北ブロック協議会教育研修部主催研修会

誰でも明日から始められる臨床研究～症例研究のすすめかた～

2025/09/28(日) - 10:00 ～ 11:00 : (第2会場 (第1会議室))

講師



ふるかわ かつひろ
古川 勉寛

医療創生大学

ご略歴

学歴

2015年 信州大学大学院博士（工学）

経歴

2017年 いわき明星大学 薬学部薬学科 講師

2020年 University Aisyiah Yogyakarta (UNISA) 客員教授

医療創生大学 健康医療科学部長、大学院生命理工学研究科長、教授（現在に至る）

所属学会・所属委員会・役員等

2019年 International Society for Electrophysical Agents in Physical Therapy (ISEAPT)
Secretary

2021年 World Physiotherapy Congress 2021 優秀発表審査員

2022年 東北ブロック協議会 学術局 機関誌編集部

座長

百足 昭一郎 白河厚生総合病院

講演概要：東北ブロック協議会教育研修部主催研修会

誰でも明日から始められる臨床研究 ～症例研究のすすめかた～

古川 勉寛

医療創生大学

々、目の前の患者さんと真摯に向き合う理学療法士の皆様、「症例報告を書いてみませんか？」という問いに、どのような思いを抱かれるでしょうか。私の過去の経験では「日々の業務に追われ時間がない」「特別な症例を担当していない」「論文の作法がわからない」等と考えることがありました。このような心理的障壁が、我々の専門性を高める貴重な機会を妨げているとしたら、それは理学療法領域全体にとって大きな損失です。本研修会の目的は、その「壁」を取り払い、皆様が明日から症例報告への一歩を踏み出すための具体的な羅針盤を示すことにあります。

まず、症例報告の価値を再定義することから始めましょう。英国の学術誌『Physiotherapy』は、完璧なデータが揃わずとも、他の臨床家の思考や実践に変化をもたらす報告を歓迎すると述べています。症例報告は、因果関係の証明は苦手ですが、特定の状況下での介入の有効性を示唆する「高い臨床的適用性」という独自の強みを持ちます。これこそ、EBMと日々の臨床実践とを繋ぐ、不可欠な「架け橋」なのです。

では、どう書くのか。そのための強力なフレームワークが、国際的な指針である「CAREガイドライン」です。本研修会では、これを単なる規則ではなく、患者さんの回復の「物語」を科学的かつ魅力的に描くための「アート」の設計図として紹介します。

さらに、日々の臨床を客観的な記録へと昇華させるための具体的な手法として、「単一症例実験計画（SCED）」を詳説します。介入前後を比較する最もシンプルな「ABデザイン」から、その発展形である「ABABデザイン」「BABデザイン」、複数の介入を比較する「ABACAデザイン」まで、皆様の臨床疑問に応じて応用可能なデザインを紹介します。

そして、多くの方が壁と感じるデータ解析についても、視覚的分析から始める方法を具体的に解説します。グラフ化したデータから介入効果をどう読み解くのか。その鍵となる「水準」「傾向」「ばらつき」「効果の即時性」「重複」「一貫性」等の視点を概説し、皆様が自信を持ってデータを解釈できるようサポートします。

本研修会を終える頃には、症例報告が決して特別なものではなく、日々の臨床の延長線上にある創造的で価値ある活動であることを、きっとご理解いただけるはずです。あなたの臨床経験は、未来の理学療法を築く紛れもないエビデンスです。その価値ある経験を形にし、共有するための第一歩を、この研修会から共に踏み出しましょう。皆様の臨床経験が持つ無限の可能性と一緒に探求できること楽しみにしております。

体験型市民公開講座

スポーツ万能！楽しく動く体づくり講座
～ケガを防ぎ、パフォーマンスを高めよう！～

2025/09/28(日) - 14:00 ～ 15:30

：（福島市立大鳥中学校（体育館））

講師



はっとり かずひこ
服部 和彦

やまぐち整形外科クリニック

ご略歴

経歴

2007年	専門学校 JMMA ACADEMY 郡山 理学療法学科 卒業
2007年	一般財団法人脳疾患研究所 附属 総合南東北病院
2009年	南東北春日リハビリテーション病院（出向）
2015年	一般財団法人脳疾患研究所 附属 総合南東北病院（帰任）
2016年	認定理学療法士（スポーツ理学療法）取得
2017年	いわきFC フィジオセラピスト
2019年	公益財団法人日本サッカー協会 公認C級コーチ取得
2019年	公益財団法人日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー取得
2023年	医療法人はやまかいせい やまぐち整形外科クリニック
2023年	福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科非常勤講師
2024年	国民スポーツ大会 福島県サッカー競技（少年） 帯同

座長

今野 裕樹 医療創生大学

第43回 東北理学療法学会 体験型市民公開講座

「スポーツ万能！ 楽しく動く体づくり講座」 ～ケガを防ぎ、パフォーマンスを高めよう！～

スポーツがもっと楽しくなる！小学生から中学生の成長段階に合わせた、正しい体の使い方やケガ予防のポイントを、体験を通して学べます。運動が得意な子も、ちょっと苦手な子も大歓迎！一緒に「動ける体」をつくりましょう！

9/28 (日)

14:00-15:30

場所：福島市立大鳥中学校体育館



理学療法士（スポーツ認定）
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
日本スポーツ外傷・障害予防協会理事
福島県サッカー協会医事委員
やまぐち整形外科クリニック勤務

**参加無料
要予約**

講師：服部和彦

2005年より県内ジュニアユース・高校サッカーチームサポートとして活動。2017～2022年、いわきFCの専属フィジオセラピストとしてチームを支え、現在もスポーツ現場でのケガ予防やコンディショニング指導に尽力している。スポーツと医療の橋渡し役として県内外で講演・指導を行う。

対象

- ・ 小学4年生から中学生
- ・ 保護者・指導者
- ・ 先着50名

準備物：上履き・タオル

動きやすい服装でご参加ください。

申し込み先QRコード

申し込み先URL：<https://forms.gle/kE6PnddiYEtacv1V9>



締め切り8/31(日)

講演概要：体験型市民公開講座

**スポーツ万能！楽しく動く体づくり講座
～ケガを防ぎ、パフォーマンスを高めよう！～**

服部 和彦

やまぐち整形外科クリニック

この講座では、小学生から中学生を対象に、成長段階に応じた「正しい体の使い方」や「ケガを予防するポイント」を、実際に体を動かしながら楽しく学びます。運動が得意な子も、少し苦手な子も、自分の体を知り、上手に使えるようになることで、運動への楽しさや自信を育むことができます。

私はこれまで、スポーツ現場でさまざまな年代の選手と関わり、ケガの予防やコンディショニング指導に取り組んできました。多くの子どもたちと接する中で感じるのは、体の使い方や発達の進み方には個人差が大きく、それぞれに合ったアプローチが必要だということです。子どもたちの体は日々成長していますが、成長速度、体の柔軟性、動き方のクセ、運動の種類や負荷量など、さまざまな要素が複雑に関係しています。これらの“偏り”をそのままにしておくと、思わぬケガや動きにくさにつながる場合があります。だからこそ、成長の段階に応じてこうした偏りを見極め、バランスよく調整していくことがとても重要です。今回の講座では、そうした視点をもとに、姿勢や動きのチェック、ケガをしにくい体の使い方、簡単にできるセルフケアの方法などを、実技を交えながらわかりやすくお伝えします。単なるトレーニングではなく、「自分の体と向き合う力」を育てることが目的です。

大会テーマでもある「継続すべきことと新たな挑戦のために」は、まさに今の子どもたちの体づくりに通じるものです。基本的な姿勢や体の使い方は、どの競技においても土台となる“継続すべきこと”であり、それを踏まえて個々に合った新しい動き方やセルフケアを取り入れていくことが“新たな挑戦”につながります。本講座を通して、子どもたちが自分の体に興味を持ち、運動を長く安全に楽しむためのヒントを得てもらえたらと願っています。

投 稿 規 定

1. 本誌の目的

本誌は、日本理学療法士協会東北ブロック協議会（以下、東北ブロック協議会）の機関誌として、理学療法及び関連領域における実践報告と研究発表の場を提供することを主な目的とし、研究論文、症例研究、短報、その他を掲載するものです。

2. 投稿者の資格

投稿の筆頭著者は本会（日本理学療法士協会東北ブロック協議会）の会員に限ります。ただし、東北ブロック協議会理事会の決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。

3. 投稿原稿の条件

他誌へ発表されたもの、または投稿中のものはご遠慮ください。

4. 利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は本文中に記載してください。なお、利益相反に関しては日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守してください。

5. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行ってください。

6. 原稿の採択

原稿の採否、掲載順は東北ブロック協議会学術局機関誌編集部(以下、編集部)で決定します。査読の結果、編集方針に従って、加筆、削除及び一部書き直しをお願いすることがあります。また、編集部の責任において、字句の訂正をすることがあるのであらかじめご了承ください。

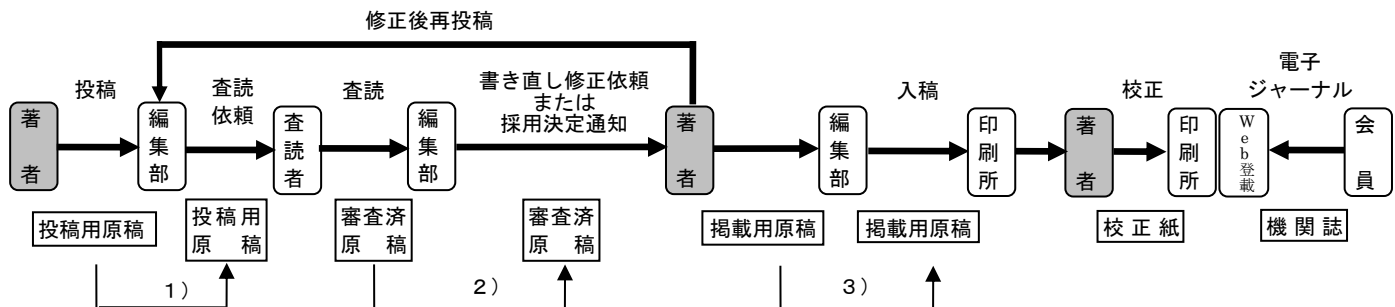
7. 校正

著者校正は原則として1回とします。校正は赤字で行ってください。

学術機関誌 執筆規定

〈投稿様式〉

下図のフローチャートに従って作業が進行します。



1. 投稿用原稿¹⁾について（上図フローチャート参照）

投稿しようとする場合は、以下に示す執筆方法に注意しながら、「投稿用原稿」を作成してください。投稿前に、投稿チェック票を用い投稿規定に沿った形で作成されているか確認し、そのうえで投稿をお願いします。投稿用原稿送付時には原稿のデータを E-mail で送付してください。E-mail で送付できない場合は、第 38 号担当者まで問い合わせください。

投稿された論文は日本理学療法士協会東北ブロック協議会（以下、東北ブロック協議会）学術局機関誌編集部（以下、編集部）を通じて 2 名の査読者に送付され、4 週間程度で第 1 回目の査読が行われます。査読を受けた原稿（審査済原稿）²⁾ は、編集部にて採用、一部修正、修正、不採用を決定します。修正が必要な場合は一旦著者に返送され、書き直し修正の依頼が行われます（3 週間程度）。その後、第 2 回目の査読（1 週間程度）が行われ、必要の場合は著者に再修正の依頼を行います（1 週間程度）。第 3 回目の査読（1 週間程度）を経た結果をもとに、編集部にて最終的な採用、不採用を決定します。

2. 掲載用原稿³⁾について（上図フローチャート参照）

採用の決まった著者は、編集部宛に「掲載用原稿」を E-mail で送付してください。

〈執筆方法〉

1. 記事の種類は、研究論文、症例研究、短報、その他の編集区分を表紙の左上に明記してください。

1) 研究論文：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。

2) 症例研究：症例の臨床的問題や治療効果についてそれを証明しうる客観的データを提示し、考察を行った論文。

3) 短 報：研究速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。

4) そ の 他：システマティックレビュー、症例報告、実践報告など編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事（なお、症例報告とは報告の新規性・希少性のポイントがどこにあるのかを文献考証を踏まえて提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの）

また編集部から区分変更のお願いをすることもあります。

2. 原稿を作成する際は文書作成ソフト(Microsoft Word)を使用し、1 枚につき 20 字×20 行のフォーマットを用い A4 判用紙（原稿用紙を使用する必要はありません）で作成してください。下記の規定の原稿枚数(図・表・写真の換算方法は後述します)を守ってください。

研究論文、症例研究は、図・表・写真、および文献を含んで40 枚以内としてください。

短報は、図・表・写真、及び文献を含んで24 枚以内としてください。

その他は、32 枚以内としてください。

論文タイトル、著者名、職名、所属、和文要旨、キーワード等は本文の字数（総ページ数）に含めないでください。本文余白（上下左右 20～30mm 程度）の下(フッタ)中央に必ずページ番号を振ってください。

3. 原稿中の英数字はすべて半角文字を、片仮名は全角文字を使用してください。
4. 表紙には、最初に和文による論文名・著者名・職名・所属名を記載してください。その次に、英文による論文名・著者名・職名・所属名の順で記載してください。
また、表紙の末尾には、表紙枚数、要旨及び Key words の枚数、本文枚数、図の枚数、表の枚数を記載してください。
5. 和文要旨は、目的、対象、方法、結果、結語を含み、これのみで論文全体の内容がわかるように記述し、400 字程度に記載してください。本文とは別に、A4 判用紙 1 枚に作成してください。本文との書式は統一する必要はありません。
6. キーワード
 - 1) 要旨の次に「Key words: 」と見出しをつけて記載してください。
 - 2) キーワードはなるべく和語とし 5 個以内を厳守してください。各キーワード間はセミコロン（; ）で区切ってください。
(例) Key words: 脳卒中; 歩行; 下肢装具; 下腿三頭筋; 床反力
 - 3) キーワードにはできるだけ略語を用いないようにしてください。
7. 論文の構成
 - 1) はじめに（序論、緒言）
研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述してください。
 - 2) 対象および方法
用いた研究方法について第三者が追試できるように記述してください。倫理的配慮も記述してください。
 - 3) 結果（成績）
研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述してください。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましいです。
 - 4) 考察（分析）
結果の分析・評価、今後の課題、などを記述してください。
 - 5) 結論
研究で得られた結論を 200 ～ 300 字で簡潔に記述してください。
 - 6) 利益相反
利益相反の有無について記載してください。
 - 7) 謝辞
著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載してください。

〈図・表について〉

1. 図表の大きさは、原則として以下の 3 種類とします。
2 段組で書かれた本文中に割り付ける際に、どのサイズを希望するか、欄外に割り付け希望サイズ（1 頁大、1/2 頁大、1/4 頁大）を明記してください。本文とあわせて総ページ数を超えないように注意してください。

- 1) 1 頁大：文字数換算で 1,600 字程度（400 字詰め原稿用紙 4 枚相当）
刷り上がりで 1 頁分のスペースを要するサイズ。
- 2) 1/2 頁大：文字数換算で 800 字程度（400 字詰め原稿用紙 2 枚相当）
刷り上がりで 1 頁の上半分のスペースを要するサイズ、または、横幅が 1 頁の横半分（左右どちらかの 1 段分）のスペースを要するサイズ。
- 3) 1/4 頁大：文字数換算で 400 字程度（400 字詰め原稿用紙 1 枚相当）
刷り上がりで 1/2 頁大のさらに半分のスペースを要するサイズで、横幅が 1 頁の左右のどちらか横半分以内のもの。
3. A4 判用紙 1 枚に図表を一つずつ作成してください。また、症例等の写真を使用する場合、被写体のプライバシーを考慮し、「目隠し」が必要な場合は欄外に「要目隠し」と朱書きしてください。
4. 図表には図 1、図 2、あるいは表 1、表 2、のようにそれぞれ番号を付けて、必ず見出し(表題)を付け、説明文が必要な場合は図表の下に添付してください。図の見出しは図下に、表の見出しは表上に付けてください。
5. 原稿(本文)中にはレイアウトせず、挿入場所がわかるように、適宜、文中で触れている説明部分などに、図 1 や表 1、あるいはカッコで囲んで（図 1）や（表 1）のように記述してください。
6. 図表は、各々の欄外に記載時の希望のサイズを明記し、本文とは別にして一括して原稿の末尾に添えてください。
7. 電子ジャーナル化に伴い、カラーでの掲載が可能となりました。

〈文献の記入方法について〉

1. 文献は、引用文献のみとし、必要最低限としてください。本文末尾に一括して引用順に記載し、原稿の規定枚数内としてください。
2. 本文中においては必ず引用箇所の右肩に、○○○○¹⁾、○○○○^{1) - 4)} のように肩番号を付してください。
3. 著者多数の場合には 3 人目以上は省略し、和文文献の場合は“○○○○，他”，欧文文献の場合は“○○○○，*et al.*”と書いてください。
4. 著者・訳者・編者名が英名の場合は「姓，名(イニシャル).」の形式とします。なお、訳者、編者等に関しては氏名の後に訳・編などを付けてください（欧文文献では、編者が一人の場合は(ed.) 二人以上の場合は(eds.)となります。
5. 雑誌名は公式の文献略称を用いてください。
例：総合リハビリテーション → 総合リハ
リハビリテーション医学 → リハ医学
Physical Therapy → Phys Ther
Archives of Physical Medicine and Rehabilitation → Arch Phys Med Rehabil
Scandinavian Journal of Rehabilitation Medicine → Scand J Rehab Med
6. ピリオド[.]，カンマ[,]，コロン[:]の付け方に注意してください（下記凡例参照）。
7. 通巻頁表示のある雑誌の場合は，()内の“号数”は特別の場合を除き，できるだけ省略してください。
8. ページ数は当該論文の文頭から文末までとしてください。
9. 文献記載の形式は下記の通りとし，例にしたがって誤りのないよう注意してください。
特に，発行地は外国の場合のみ記入し，発行年は西暦で書いてください。
10. 雑誌の場合は著者氏名：論文題目．雑誌名／．西暦年号；巻：頁（最初－最終）．の順に，単行本の場合は著者氏名：書名．編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁．の順に書いてください。なお，単行本中の論文の場合は，書名の前に論文名を書いてください。
11. Web サイト中の記事は，分かる場合は著者氏名，Web ページの題名．Web サイトの名称．入手先(URL)を

書いてください。また、末尾に引用日を書いてください。

12. 電子ジャーナルの場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初－最終）．入手先，引用日．
を書いてください．DOI(Digital Object Identifier)がある場合は，頁のあとに書いてください．入手先は欧文文
献の場合 Available from: <http://www. . .>と書いてください．引用日は欧文文献の場合[cited〇〇]と書いて
ください．

[文献記載凡例]

- 1) 宮本謙三，竹林秀晃，他：加齢による敏捷性機能の変化過程— Ten Step Test を用いて—．理学療法学．
2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, *et al.*: Changes in functional walking distance and health-related quality of
life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉：肩—その機能と臨床—（第3版）．医学書院，東京，2001，156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds):
Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia,
2006, 97-112.
- 5) 名郷直樹: EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖(編),
医歯薬出版, 東京, 2008, 18-38.
- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成 23 年度版.
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011 年 12 月 19 日引
用)
- 7) Aboud S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J*
Nurs. 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from:
<http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm>Article
- 8) Zhang M, Holman CD, *et al.*: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions
in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752.
PubMed PMID:19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated
2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: <http://www.cancer-pain.org/>.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug
23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from:
<http://www.ama-assn.org/ama/pub/category/1736.html>

〈その他の留意事項〉

1. 原稿は，採否に関わらず原則として返却致しません．提出論文のコピーを必ず手元に保存しておいてくださ
い．
2. 著者校正は初校のみとし，校正は誤植の訂正だけにとどめてください．校正の途中で，文章や図・表を変更
することは認められません．
3. 校正の途中で表題や共著者名等，目次と関わりがある部分を変更することは避けてください．やむを得ず変
更する場合は編集部内の各号担当者へお知らせ願います．
4. 本誌に掲載された論文の著作権は，東北ブロック協議会に属することをご了承ください．
5. 所属先におけるリポジトリ登録等にあたり，本誌掲載論文に関わる情報公開が必要な場合，下記に記す学術
局機関誌編集部へ問い合わせをお願いします．機関誌編集部にて審議し，東北ブロック協議会理事会におけ

る承認後、公開時期について連絡いたします。

〈原稿送付時の注意〉

1. 投稿原稿

投稿チェック票を用いて投稿規定に沿った形で作成されているかをご確認のうえ、投稿時にはその投稿チェック票も併せてご提出くださいますようお願いいたします。E-mail の件名は「第 38 号投稿用原稿在中」としてください。作成したソフト名、ファイル名を E-mail 本文中に記載してください。編集部でファイルを開くことができないときは、テキスト形式など再度提出をお願いすることがあります。

2. 修正済み原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

原稿を修正した場合は、送付された査読者コメント用紙と修正した点や修正しない場合はその理由を箇条書きにした文書を同封してください。この時、2 人の査読者へのコメントを一つにまとめずに、それぞれ分けて文書をご準備ください。

3. 掲載原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

〈第 38 号の原稿締め切り日〉

投稿用原稿の締め切りは、令和 7 年 10 月 5 日（日）とします。締め切りを過ぎた原稿は受け付けられませんのでご了承ください。

〈第 38 号の応募先・問い合わせ先〉

第 38 号に関する原稿送付及び原稿作成についての問い合わせは下記宛をお願いいたします。お間違いのないようご注意ください。

〒010-8543 秋田市本道 1-1-1

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座

日本理学療法士協会東北ブロック協議会

学術局機関誌編集部 第 38 号担当 木元稔

E-mail: minoru-kimoto@hs.akita-u.ac.jp

TEL: 018-884-6526 (研究室直通)

東北理学療法学会 投稿論文チェック票

1. 筆頭著者名:
 2. 論文題目:
 3. 下記項目を確認し、不備があればチェックしてください
 4. 下記チェック後、論文投稿時にチェック表の提出もお願いいたします
- ☐ 希望原稿種類は記載されていますか。(研究論文、症例研究、短報、その他)
 - ☐ 原稿は A4 用紙 (20 字×20 行フォーマット) で作成されていますか。
 - ☐ 原稿枚数は守られていますか。(研究論文・症例研究: 40 枚以内、短報: 24 枚以内、その他: 32 枚以内)
 - ☐ 本文余白 (上下左右 20～30mm 程度) が守られていますか。
 - ☐ 本文のページ番号がフッタ中央に記載されていますか。
 - ☐ 表紙に和文および英文の論文名・著者名・職名・所属名が記載されていますか。
 - ☐ 要旨は 400 字程度で目的、対象、方法、結果、結語が含まれていますか。
 - ☐ キーワードは和語で 5 個以内に記載されていますか。(各キーワード間はセミコロンで区切り)
 - ☐ 論文構成 (はじめに、対象および方法、結果、考察、結論) が適切に記載されていますか。
 - ☐ 倫理的配慮について記述されていますか。
 - ☐ 利益相反の有無が記載されていますか。
 - ☐ 謝辞が必要な場合は記載されていますか。
 - ☐ 図表は本文中にレイアウトされておらず、挿入場所が明記されていますか。(例: 図 1、表 1)
 - ☐ 図表の希望サイズ (1 頁大、1/2 頁大、1/4 頁大) が明記されていますか。
 - ☐ 図表について 1 頁大を 4 枚、1/2 頁大を 2 枚、1/4 頁大を 1 枚に換算し、原稿枚数が守られていますか。
 - ☐ 文献は引用順に記載されていますか。
 - ☐ 文献の形式が規定に沿っていますか。(雑誌名略称、著者名、発行年、ページ番号など)
 - ☐ 原稿は他者から確認を受けましたか。

後援御芳名

福島県

福島市

一般社団法人 福島県医師会

公益社団法人 福島県看護協会

一般社団法人 福島県作業療法士会

一般社団法人 福島県言語聴覚士会

福島民友新聞社

福島民報社

福島中央テレビ

福島テレビ

福島放送

テレビユー福島

株式会社ラジオ福島

(順不同・敬称略)

ご協力頂いた企業・団体 御芳名

協賛金寄付企業名

株式会社システムワールド

広告協賛企業名

大塚製薬株式会社

エア・ウォーター・メディカル株式会社

株式会社中山書店

アナトマージ ジャパン株式会社

帝人ヘルスケア株式会社

医歯薬出版(株)

株式会社メジカルビュー社

機器展示企業名

大塚製薬株式会社

株式会社インボディ・ジャパン

日東工器株式会社

酒井医療株式会社

ミナト医科学株式会社

フィンガルリンク株式会社

アビリティーズ・ケアネット株式会社

パシフィックサプライ株式会社

一般社団法人日本車いすインストラクター協会

(順不同・敬称略)

第44回 東北理学療法学会

理学療法とファシリテーション —課題解決のための理学療法士の間づくり—

会期

2026年 9/26 (土) 27 (日)

会場

山形テルサ 山形県山形市双葉町1丁目2-3

大会長

黒田昌宏 (みゆき会病院)

主催：日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
担当：一般社団法人 山形県理学療法士会



審査員一覧

阿部 浩明	武田 裕吾
遠藤 武秀	田邊 素子
及川 龍彦	中野渡 達哉
岡崎 可奈子	原 和彦
蔵品 利江	藤田 俊文
小林 大介	古川 勉寛
今野 裕樹	古川 大
澁谷 綾祐	星 豪志
神 将文	宮城 新吾
添田 健仁	山田 文武
高橋 一揮	吉田 俊太郎
高山 僚平	渡部 潤一

(順不同、敬称略)

学術大会運営組織

大会長	高橋仁美（福島県立医科大学）
副大会長	舟見敬成（総合南東北病院） 齊藤 隆（介護老人保健施設 サンライフゆもと） 平野雄三（南東北春日リハビリテーション病院）
準備委員長、事務局長	小俣純一（福島県立医科大学）
副局長、渉外部長	星 真行（福島県立医科大学）
広報部長	楠本泰士（福島県立医科大学）
広報副部長	岸浪麻美（南東北春日リハビリテーション病院）
財務部長	高橋恵里（福島県立医科大学）
学術局長	佐藤竜太（トータルヘルスクリニック）
副局長	百足昭一郎（白河厚生総合病院）
企画部長	佐藤 努（わたり病院）
企画副部長	佐藤 絢（わたり病院）
演題統括	森山信彰（福島県立医科大学）
演題管理部長	中野渡達哉（福島県立医科大学） 二瓶健司（星総合病院）
生涯学習管理部長	高野 稔（総合南東北病院）
運営局長	山本優一（北福島医療センター）
副局長	佐藤飛鳥（あづま脳神経外科病院）
運営部長	佐藤 亮（南東北福島病院）
運営副部長	蛭名葉月（プライムケア桃花林）
会場管理部長	渡辺祐樹（福島県立医科大学） 小野田修一（南相馬市立総合病院）
顧問	矢吹省司（福島県立医科大学）
相談役	神先秀人（福島県立医科大学）

医歯薬出版 好評関連書のご案内

退院時リハビリテーション指導に使える！日常生活のなかで運動をうながす実践ツール

おうちでできる 運動指導



高橋 仁美 著
定価 3,960 円 (税 10% 込)
B5 判 116 頁
ISBN978-4-263-26695-3

解説
web
動画付



主な項目

- 初級者向けの運動 (負荷が軽い)
膝伸ばし足上げ／足横上げ／空中自転車こぎ／レッグレイズ ほか
- 中級者向けの運動 (負荷が中程度)
あおむけ腕伸ばし／あおむけペットボトル合わせ／膝押さえ胸伸ばし ほか
- 上級者向けの運動 (負荷が高め)
両肘立て静止 足上げ／横になって・肘立て静止 足上げ ほか



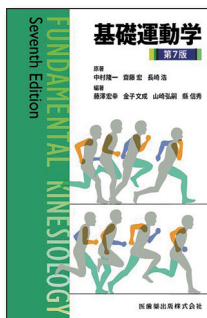
- さまざまな肢位で行う51の運動を収載。負荷に応じて分類され、対象者に合わせて運動を選択できる。
- 左ページは対象者向け、右ページは指導者向けとなっており、コピーして対象者に渡すことができる。
- 各ページのQRコードから動画を視聴すれば、動きが分かりにくい運動もスムーズに理解できる。
- 対象者の日々の運動をサポートし、介護予防・健康寿命延伸につなげる実践ツール。

コピーして渡せる！
QRコードから動画視聴して
おうちでも動きが学べる！

基礎運動学 第7版

中村隆一・齋藤宏・長崎浩 原著
藤澤宏幸・金子文成・
山崎弘嗣・縣信秀 編著
定価 7,920 円 (本体 7,200 円+税 10%)
B5 判 590 頁
ISBN978-4-263-26682-3

理学療法士・作業療法士のバイブル、新たな編著者を迎え21年ぶりの大改訂！前版を継承しつつ最新知見を加えた待望の改訂版。



切断と義肢 第3版

澤村誠志 著
定価 8,360 円 (本体 7,600 円+税 10%)
B5 判 584 頁
ISBN978-4-263-26691-5

学生から専門家まで幅広く役立つ、四肢切断と義手・義足の定番書。待望の改訂第3版！斯界の第一人者による、高い評価を受け続けてきたスタンダードテキスト。最新知見と、各メーカーの最新機器を掲載。



目でみる嚥下障害 第2版

藤島一郎 監修・著
岡本圭史・國枝顕二郎・重松孝 著
定価 6,160 円 (本体 5,600 円+税 10%)
B5 判 176 頁
ISBN978-4-263-26694-6

著者らが長年の臨床経験で集めたVFとVEの所見を駆使して、嚥下障害を“目でみえる”ようにわかりやすく解説。Web動画152本・カラー画像332点を収載！

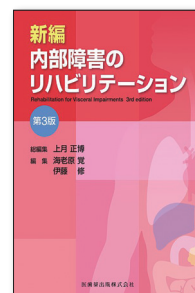


新編 内部障害のリハビリテーション

第3版

上月正博 総編集／海老原 寛・伊藤 修 編
定価 10,560 円 (本体 9,600 円+税 10%)
B5 判 488 頁
ISBN978-4-263-26689-2

内部障害のリハの知識と具体的な進め方を解説したテキストが7年ぶりに改訂。最新トピックスを盛り込み、各種データも刷新。



医歯薬出版株式会社
https://www.ishiyaku.co.jp/

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL03-5395-7610 FAX03-5395-7611

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Life の向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD026-TB-2407
2024年7月作成

理学療法士，作業療法士，言語聴覚士養成校共通の
専門基礎科目に対応したテキストシリーズ

Crosslink basic

リハビリテーションテキスト

リハビリテーションに携わるうえで基盤となる知識を単なる丸暗記ではなく、なぜ重要なのか、臨床のどの場面で役立つのか、根拠を示しながら具体的に解説。噛み砕いた表現と豊富な図表で視覚的にも理解しやすい紙面に加え、各見出し毎の【POINT】で、どこに重点を置いて学習すべきかが一目でわかるテキストシリーズです。

■ B5判・220～480頁・オールカラー



リハビリテーション医学

編集 上月 正博 高橋 仁美

定価 5,720円 (本体5,200円+税10%)
ISBN978-4-7583-2061-0

人間発達学

編集 浅野 大喜

定価 4,620円 (本体4,200円+税10%)
ISBN978-4-7583-2062-7

生理学

編集 角田 亘 後藤 純信

定価 4,950円 (本体4,500円+税10%)
ISBN978-4-7583-2081-8

栄養学・生化学

編集 吉村 芳弘

編集協力 山田 実 田中 舞 嶋津 さゆり

定価 3,960円 (本体3,600円+税10%)
ISBN978-4-7583-2090-0

内科学

編集 角田 亘 岡崎 史子

定価 6,380円 (本体5,800円+税10%)
ISBN978-4-7583-2253-9

公衆衛生学

監修 安村 誠司

編集 浅川 康吉

定価 3,850円 (本体3,500円+税10%)
ISBN978-4-7583-2097-9

心理学・臨床心理学

編集 中川 明仁 江越 正次朗

長谷川 裕 高橋 圭三

定価 3,520円 (本体3,200円+税10%)
ISBN978-4-7583-2266-9

解剖学

編集

小澤 一史 坂井 建雄 飯島 典生

定価 6,380円 (本体5,800円+税10%)
ISBN978-4-7583-2271-3

第4版

現場で必要な呼吸リハビリテーションの手技がフルカラー写真でわかる!

リハ実践テクニック 呼吸ケア

病期別呼吸リハビリテーションと ケア・サポートの技術

豊富な写真と図によって理学療法士に必要な呼吸ケアの手技が一目で理解できる必携書が待望の改訂。評価・介入については新ガイドライン『呼吸リハビリテーションに関するステートメント』に沿った内容に変更し、また評価や治療手技を患者や利用者に接する流れに沿って病期別の解説を追加。臨床でより使いやすくなった充実の第4版!

編集

塩谷 隆信

秋田大学 名誉教授

介護老人保健施設 ニコニコ苑 施設長

高橋 仁美

国際医療福祉大学 保健医療学部

理学療法学科 教授



定価 5,280円 (本体 4,800円+税10%)
B5変型判・440頁・オールカラー
イラスト210点、写真400点
ISBN978-4-7583-2036-8

メジカルビュー社

※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号

TEL.03(5228)2050

FAX.03(5228)2059

E-mail(営業部) eigyo@medicalview.co.jp

https://www.medicalview.co.jp

スマートフォンで
書籍の内容紹介や目次が
ご覧いただけます。



第43回東北理学療法学術大会

プログラム・抄録集

発行年月：2025年9月10日（第1版）

編集責任者：第43回東北理学療法学術大会

大会長：高橋 仁美（公立大学法人福島県立医科大学）

編集担当者：学術局長 佐藤竜太

副局長 百足昭一郎

編集部 森山信彰 佐藤努

運営事務局：第43回東北理学療法学術大会準備委員会事務局

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

E-mail：ttohoku.pt.43th@gmail.com
